

えひめ

RUGBY



No.13-MAR・1990

愛媛県ラグビーフットボール協会

松山銘菓

薄墨羊羹

流込羊羹



薄墨桜に因んだ
色と佳香、
心かよう老舗の味。

吟味した上質の原料を

伝統の技で

練り上げた逸品。

抹茶の高い香と

あつさりとした後味の

よい風味は、

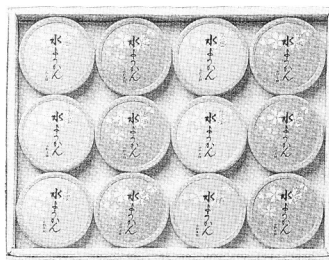
四季を問わず

どちらさまにも

喜ばれております。

まごころを銘菓に託した伝統の味

薄墨羊羹



薄墨水ようかん

(株)中野本舗

本店 / 松山市大街道1丁目2番地2 ☎(0899)43-0438代

本社・工場 / 松山市井門町1331番地1 ☎(0899)58-3355・FAX58-3939

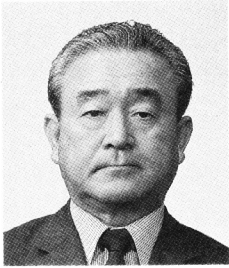
目 次

新春に想う	細田 新	(2)
高校女子マネージャー初の集い		(3)
スコアブック講習会		(3)
座談会	松本 朱美、日野 恵美、渡部 優子、藤本 順子	(5)
	土居美智子、井上 光美、池本由樹子、小松 綾	
	黒川 文	
初めての集いに参加して		(8)
コーチング		(9)
ニュージーランド・ラグビーの基本プレーを学ぶ	中野 節夫	(9)
評		(12)
はまなす国体		(12)
第40回全国地区対抗大学大会		(13)
12年ぶり 久々の全国大会へ	青野 雅則	(14)
第20回全国高専ラグビー大会		(15)
憧れのユニバーシアードへ	松口 猛	(16)
第69回全国高校ラグビー大会地区・県予選		(18)
第69回全国高校ラグビー大会		(22)
花園での経験を生かしてほしい	西川 明良	(22)
第5回愛媛県中学校ラグビー大会		
兼第10回関西中学生ラグビー大会県予選	小川 敏	(23)
南第二中 初出場でB・準優勝	小川 敏	(25)
もう一度「花園」を目指してみたい	松田 国明	(27)
頼もしい子供達	鈴木 絹子	(27)
天理高ラグビーの真髄に触れる		(28)
第1回四国ラグビースクール大会		(30)
笛の大切さ	池本 享啓	(30)
こんないいラグビー場 松山にも欲しいわね	田中 節子	(31)
勇気凜凜の子供達	天野 富子	(31)
ラグビーの魅力に取りつかれそう	矢木 千鶴	(32)
第1回関西協会クラブチーム大会		
紳士のチームと対戦、さわやかさを感じ	板坂 修一	(33)
8人目の高校日本代表に選ばれる 松本昌丈君		(34)
社会体育指導員全国表彰の荣誉 大西五郎氏		(35)
協会だより		(37)
正念場 福岡国体へ向けて指導強化体制を改組		(37)
久万町のラグビー場建設		(37)
思惑クラブ20周年記念行事を企画		(38)
スポーツ功労賞等の表彰		(38)
近県小学生ラグビー交流大会		(39)
故山崎祐蔵さんを偲んで追悼試合		(39)
記 録		(40)
編集後記		(44)
☆表紙写真 第37回県選手権大会 聖陵クラブ—住友鉦山		
ハンドオフで突き進む聖陵クラブ 矢野 勝美氏提供		
☆カ ッ ト 福岡美佳さん提供。ラグビー愛好会「すばらしいラグビーを楽しもう」。		

新春に想う

——激しい中にもフェアなラグビーを——

会長 細田 新



神戸製鋼の凄まじいばかりの圧勝、日本選手権二連覇で今年のシーズンも幕を閉じたが、ラグビー人気は高まるばかりであった。何を求めてあれ

だけの大観衆がスタンドを埋めつくすのだろうか。

通常、スポーツの人気は技術や型などが、観る人達の好みに合うことが必要だが、その上に選手の状態、表情のような心情的要素も大きく影響する。

ラグビーは、グラウンドでは掛値なしの男と男の激突が展開され、倒れても倒れても前へ、前へと攻め進む。力と力、体と体、むき出しの闘争心のぶつかり合いである。この男の争いに、技術の優劣だけでなくその心＝スポーツの原点を求めて多くのファンが集まるのであろう。

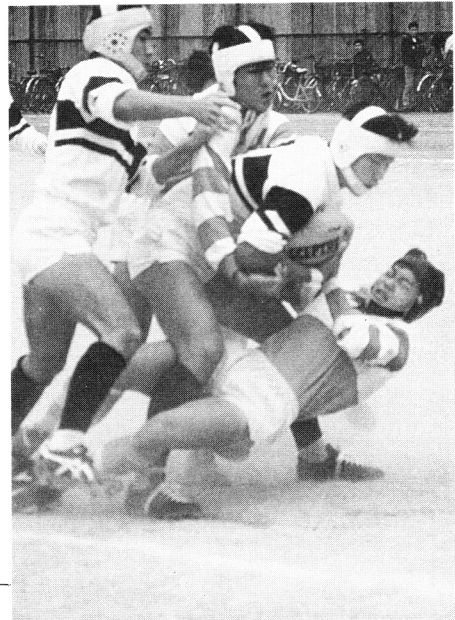
激烈な男の戦いだけに、一つ間違えるとゲーム中に乱闘になりかねない。それを防ぐためにレフェリーには絶対の権限が与えられている。特に暴力的行為に対しては警告、退場→以降の試合出場禁止の処分もある。

憂慮すべきことは、ここ数年の世界的傾向であるが、五カ国対抗やW杯でも、レフェリーの制止を振り切った乱闘が起きている。国際ラグビー機構（IRFB）もこの事態を重視し粗暴なプレー、暴力的行為に歯止めをかけるため、レフェリーの厳しい即断を指示している。日本協会ではさらにフェア・ラグビーを目指し、この考え方を'89ルール改正施行の中心に据えている。激しい戦いの中でも、フェアをモットーとするラグビーの原点を求めているのである。

それだけに、昨年12月の県リーグ戦で起きた暴力事件は遺憾の極みであり、言語道断の行為と言わざるを得ない。厳しい処分は当然であり、当事者の猛省を促したい。

ふり返って神鋼・早大戦を考えてみると、スピーディで激しいぶつかり合いの中でも、全く粗暴なプレーは見られなかった。特に神鋼のプレーは、王者にふさわしくファインであり、フェアであり、見事というほかなかった。かつてその粗暴なプレーを名差して批判され、出場停止処分まで受けた有名選手の変身ぶりなど、目を疑うほどであった。それでこそ社会的に認められるのだと思う。

スポーツはプレーヤーだけのものではなく、多くの人の心を楽しくも、寂しくもさせるものだ。それがスポーツの持つ普遍性というか公共性といおうか、その影響力は極めて大きいものがある。指導者は選手一人ひとりにその自覚を持たせなくては、愛媛県のラグビーの発展は望めないと思う。



H.1.11.15. 全国高校大会県予選 北条一愛光(右)

愛媛のラグビー史を綴る裏方さん

高校女子マネージャー初の集い

日頃見せない男の子の涙に感動

平成元年12月9日、南海放送1階の特写室を借用して、松山市近辺の高校女子マネージャー9人が集い、初めてのスコアブック記帳講習会と、彼女達の高校ラグビー像について語って貰った。

当日参集してくれた北条高には5人、松山工4人、松山北5人、松山商10人、松山東4人の女子マネージャーが入部している。県下では約30名といわれており、彼女達の存在は大きい。

日頃、男子部員とどのように接し、高校ラグビーに何を感じ、自チームの活躍に一喜一憂する彼女達的心情を知りたかった。この度の集いは編集委員会のそんな気持ちから企画したものであり、第1回として松山市近辺から代表者を招いた次第である。次回は是非とも全県的な催しを持ちたいものと思っている。

スコアブック講習会

永年、記録・広報を手がけている二神英臣理事が講師となり、ラグビーの用語や大切なルールの解説、事例を挙げての記帳の仕方、例題演習等を行った。

参集9人のうち、6人までが全く記録の経験がない上に、短時間でもあり、殊に1年生マネージャーにとっては、ほんとうにご苦労様といたいような状況であった。しかし、みんな大変真面目で、これからうんと勉強するので、2回、3回と実施してほしいという心強い要望も出され、第1回目としてはまずまずの出来であったと思う。

できれば県下全マネージャーを対象に、このような会合を催したいものだと考えている。

紙面の関係もあるので講習内容の詳細は割愛させていただき、以下、記録の必要性、重要性を知ってもらい、また、受講者には復習の意味で、他

〔参集者〕

講師・司会：理事 二神 英 臣
高校女子マネージャー

北条高	3年	野本	朱美
〃	2年	日野	恵美
松山工高	1年	渡部	優子
松山北高	1年	藤本	順子
〃	1年	土居	美智子
松山商高	2年	井上	光美
〃	2年	池本	由樹子
松山東高	2年	小松	綾
〃	2年	黒川	文

記録・文責：理事 中野 節 夫
(順不同、敬称略)

の読者にはどれだけ知っているか、若干の問題を出してみることにした。

記録の必要性、大切さ

- ★スコアブックは、あとで誰が見ても分かるように、ゲームの流れを追ってプレーの瞬間をできるだけ刻明に、正確に記録しておくものである。
- ★そのために、記録者はラグビーの用語、ルールポジション(略語を含めて)、レフリーのコールとシグナルなど、よく知っていることが必要となる。
- ★動きの激しいプレーを記録にとどめるのであるから、略記号を大いに使うなど、速記力も強く求められよう。
- ★「えひめRUGBY」の毎号に、戦評や記録を掲載しているが、そのすべてがスコアブックに頼っている。選手はもとより、ラグビーファンも含めて、のちのちこれらを読んで往時を懐しみ、その時々的情景を思い出す、そんな貴重な資料になるのである。

このように大切にやっかいな記録づけをしているのは、殆んど高校女子マネージャーである。このことは、本県ラグビー史の一駒を、一頁を、彼女達が主役になって丹念に綴り続けてくれているということであって、表舞台で活躍するプレイヤーに勝るとも劣らない、裏方でのラガーなのである。『ご苦労さん』と一言、声を掛けてあげてほしいものである。

演習問題

I ラグビー特有の用語で日頃よく耳にし、目にする次の略記号はどういうことか。即時にどれぐらい解答できたかな？

[ポジション]

PR. FB. SO. FL. WTB. LO.

HO. CTB. SH.

[グラウンド]

HL. GL. TL. DL. GP.

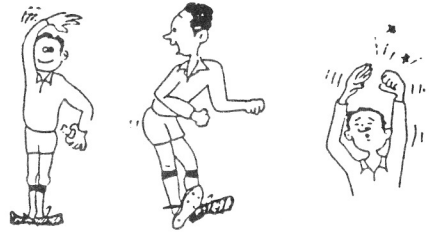
[プレー]

S. G. P. T. M. ST. PG. R. LO.

II 次のレフリーの動作は何を示しているか。



記録づけの演習



III 次の記録事例は、プレーの流れ、状況について適切に表現されている、いない？

——29分、東都陣左寄り22mからの東都パスを、城南13インターセプトして30m独走、ポスト直下にT。15Gをねらうもボールはバーに当たって不成功（城南13—4東都）。

※解答はあえて示さない。ルールブック等で勉強してほしい。（イラストは競技規則より）

座 談 会

—東京の国立競技場で試合する時は、いつも6万人を超える大観衆で埋まる。女性ファンは知的美人が多いともいわれています。貴女達が女子マネージャーを志望した動機、理由は。

井 上 とにかくやってみたかった。ラグビーに興味があったものですから。

池 本 テレビでラグビーを観ていたの、高校に入ってラグビー部があったから志望しました。

小 松 以前から早明戦などテレビで観戦して、面白いなあと思っていた。ラグビーは男の子しかできないスポーツなので選びました。

黒 川 ラグビーは男の集団。そんな男の子の身の廻りの世話をしたかったからです。

土 居 中学時代からラグビーに興味があり、テレビを観ていたの、志望しました。

藤 本 どれかの部でマネをやりたかった。あれこれ探しているうちに、男子部員にダメされて？ 入りました。ほんとにみんな親切で優しい。でも洗濯が多くて大変。

日 野 どれかの部のマネージャーをしてみたかった。ラグビーが一番興味を感じましたから。

野 本 中学時代からラグビーに興味があった。目の前でラグビー部の人達が一生懸命練習していることに、すごく感動したからです。

渡 部 女子は少いけど殆んどの部でマネージャーになっている。放課後の部活動でラグビー部の人達が頑張っているのを観て入部しました。



(左より、井上、池本、小松さん)

—女子が男の集団に仲間入りするには、大変な勇気がいったことと思う。青春時代の入口でラグビーとかかわりができたが、高校教育の一環としてラグビーとは何かを学んでほしいと思う。次にマネージャーとしての心がまえ、良かったこと、辛かったことなどについて。

井 上 練習が終って帰るとき、部員から「お疲れさま」と言われるのが嬉しい。しかし試合に敗けて部員が泣いているのを見るのが一番辛い。私も一緒に涙を流したことがあります。



(黒川さん)

池 本 部員の健康と怪我に一番注意します。また先輩に手間を取らせないように、マネの仕事で自分でやるように心掛けています。

遅くまで頑張ったのに負けた時に、日頃は見せない男の涙をみて辛い思いをしました。

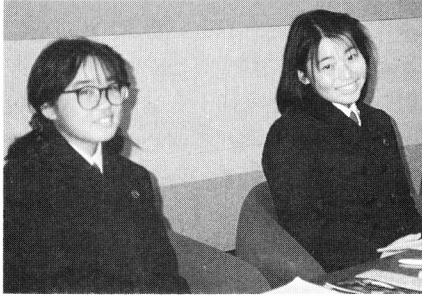
小 松 東高の部員だぞという誇りと自信を部員に持つてもらうことが大切だと思います。1年生の部員が「やったぞ」と胸を張り、或いは敗れた時に部員がマネージャーに「悪かったね」と言われて感動し泣けてくることがあります。

黒 川 ラグビーに集中してもらうように心がけています。総体が終って引退する先輩から、よく頑張ってくれたねと褒められるのが嬉しい。でも、試合に負けて部員から、弱いチームのマネージャーになって恥ずかしいだろうと言われるのが辛い。

土 居 先輩のマネージャーと一緒に、千羽鶴を折りましたが、部員が試合の時にスタンドに持ち込み、普段は部室に飾ってくれているのが嬉しい。3年生が総体で負けて引退するのがとても辛かった。

藤 本 練習が終って先輩のマネージャーからジュースをもらったり、何かと労わってくれるのが嬉しい。でも、先輩にとって最後の試合が逆転負けで、泣いているのを見た時はほんとうに辛かった。

渡 部 練習も終り部室の掃除が終って、ふと見ると小さい紙切れに「ありがとう」と書いてあ



(左から、土居、藤本さん)

った。部員の優しい気持ちがほんとうに嬉しかった。でも、やはり他校の人達と同じように、負けた時に見せる男の涙は辛いものですね。

日 野 マネージャーにしかできない仕事を、一生懸命やろうと心掛けています。そのためか、家では余り手伝ったことがなかったのに、自分から進んでやるようになりました。やはり負けて泣いている選手をみるのが一番辛いですね。——頂点に立つのは一校しかない。いつかは負ける。勝って泣き、負けて泣く。しかし一生懸命頑張った美しい涙ですね。

皆んなの中で3年生は野本さん一人。3年間を振り返ってどうですか。

野 本 花園の全国大会県予選で、北条高は松山城城南に敗れました。でも私にとっては、今までの中で最も心に残る良い試合がみられました。マネージャーをしていてほんとに良かったと思っています。

——新田高が30度目の全国大会出場を決めた。女子マネージャーにとって、花園とは何なのでしょう。

井 上 大きな目標です。マネージャーとして部員と一度は行ってみたいところですよ。

池 本 野球の甲子園と同じ感じ。部員とマネとの共通の目標です。

小 松 最後の最後に出てくる「合言葉」です。

黒 川 ポスターをみて、いつも心の隅にあるところですよ。

土 居 マネージャーになるまでは、ピンとこないところだった。でも今は、選手の大きい目標として頑張っているのを見ると、一緒に行き見たいという実感となってきました。

藤 本 目標といたいけど、まだ夢のグラウンド。

渡 部 みんなが共通して持っている夢。

日 野 大きい目標。来シーズンは是非実現してほしいと願っています。

野 本 憧れの花園に行けなかったけど、花園を目ざして練習してきた日々が、強烈な思い出となって残る。後輩の部員に頑張ってもらって、是非行ってほしいものです。

——花園への切符は新田が手にし、大学、社会人日本選手権と、中央ではこれからが本格的な大ゲームの始まりです。県内ではもうシーズンオフのような感じがします。今年、印象に残ったゲームやマネージャーとしての抱負などを聞かせてください。

井 上 新田と松山城城南が強かった。総体で城南と対戦し、18-12で敗れた。後半は勝っており残念だったけど印象に残るゲームでした。

池 本 新田と城南が中心だった。周りのチームも力を伸ばして、良い試合、惜しい試合といわれるように、新田、城南と面白いゲームがやれるようになってほしいと思います。

小 松 3年生は総体で退部。2年生主体のために、新田高のゲームを見ていると練習の仕方など、根本的な違いを見せつけられた思いです。

——大阪はじめ全国的には、進学校でありながら浪人してでも、3年生で試合をするチームもあるが、どうだろうか。

小 松 東高に入った目的の方が大きいので、そんなことは無理と思います。

黒 川 全国的にみると、2年生主体のチームでも全国大会に出場しているのだから、短時間で



(左から、渡部、日野、野本さん)

あっても集中して、練習に工夫をしてほしいと思います。

土居 どうせ負けると考えるけど、選手みんなはそれなりに頑張っていて、年1回の試合に一生懸命やっているラグビーを、いいものだなあと思っています。

藤本 ラグビーを余り知らずに入部したけど、一年経って段々知ってきました。新田や城南の良いところを学びとって、来年は是非勝利を味わいたいと思っています。

渡部 強いチームと対等にやれるよう、成長してほしいと願っています。

日野 新田や城南以外の他の学校も、ワン・トライを争うゲームをやって頑張っていたのが感激です。

野本 愛媛の高校ラグビーは、新田と城南が強いけど、同じ高校生だから厚い壁も、必ずどこかから乗り越えられるものと思っています。それを後輩にやってほしいと願っています。

——新年が明けると新人大会が始まります。ずばりここまでやれる、と来年度の展望を一言。

井上 2年生が4人で1年生が主体だから、1年生を育てるのが目標です。

池本 基礎練習に重点を置き、短時間だけど効果的に練習をしており、1年生もびっくりするぐらい成長しています。2年生4人が引張ってみんなが団結している。1年生主体で1勝し、目標はベスト8。

小松 スタミナの強化と意識の盛り上げが大切です。みんなで作ろうという気合いがあればゲームも良くなります。そうあってほしい。

黒川 スタミナ不足、バテてはいかんと各自が授業の合い間にトレーニングしています。小さな目標だけど試合でバテないこと。大きくはベスト4。

土居 狭い学校のグラウンドだけれど、効果的にもっと走り込んでほしい。そうするともっとやれると思います。

藤本 1年経って部員にも馴れてきました。みんなが万全のコンディションづくりができるよう気を配っています。まずは2回戦へ進出。

渡部 新チームで初めての試合。一つひとつ頑張りたいと思っています。

日野 1年生を含めて2年生中心のチーム。優勝を目標に頑張っています。

野本 ずばり優勝!!

——みなさんは折角ラグビーと縁ができた。北条高の野本さんは進学とのこと。高校卒業後のラグビーとのかかわり方をどうしますか。

野本 中学時代は興味のみだったが、高校ではマネージャーとして良かったこと、タメになったことも数多くあります。卒業しても熱烈なファンとして、ラグビー場へも行こうと思っています。

日野 機会があればゲームを見に行きたい。

渡部 このままマネを続け、卒業後は松工OBのマネージャーをやりたい。

藤本 ラグビーを通して色々と学んでいきたい。

土居 卒業後には有名ゲームだけでなく、中学や高校のゲームも見に行きたい。

黒川 3年生になるとマネージャーも引退。でも重要な試合や1年生の面倒を見たいと思う。

小松 一寸した怪我でも恐かったけど、今では恐ろしくなく強くなったと思う。これを生かして強い女性になれるでしょう。気にかけてラグビーをずっと見つづけて行き、女性のファンを増やすよう努力したい。

池本 途中で止めたい時もあったけど、みんな



(左から、土居、藤本、渡部、日野、野本さん)

で三年間頑張ろうと誓い合いました。引退後も部員の成長を見守り、後輩のマネの仕事も指導したい。大学のゲームも見に行きたい。

井上 これまで学ぶことが多かった。続けてやりたい。卒業後はゲームを見たり、応援したいと思っています。

初めての集いに参加して

この度の催しについて感想文を寄せて貰ったが、紙数の関係で編集者の独断的要約にさせてもらったことをお許しいただきたい。

野 本 3年生は私一人だったが、どの高校も1、2年生がしっかりしていて、すごく頼もしかった。座談会でも話したけど、一緒にプレーする相手も「みんな同じ高校生だ」ということを忘れないで試合に臨んでほしいと思います。そのためには、やはりマネージャーがみんなを支えてあげられるように努力する必要があると思います。

私達が果たせなかった「花園出場、をぜひ後輩達に叶えてもらいたいです。また、ラグビーの素晴らしさを多くの人達に味わってもらいたいです。

日 野 他校のマネージャーの意見を聞いたり、スコアブックの付け方を習い、いろいろと勉強になりました。

花園は野球でいう「甲子園」ですが、選手達はこの「花園、へ行くことを大きな目標として頑張っています。試合で勝つためにはチーム力はもちろんですが、常にマネージャーが選手の怪我の処置などの気配り、健康状態に気をつけて、いつもベストコンディションで試合に臨めるように、心掛けていなければいけません。マネージャーをしていて本当に良かったと言えるよう精一杯頑張ろうと思っています。

渡 部 ラグビーのスコアの理解はまだまだ不十分ですが、座談会が良かった。学校ごとの特色ある練習や、部員の人達との交流、先輩マネの経験など、いろいろ参考になりました。他校のマネージャーと仲良くなれたのも、私にとって大きい収穫だった。そして、マネージャーという仕事が、重大！ということを実感しました。部室の清掃をしたりするだけでなく、部員の精神的な面においても、プラスになるよう活動したいと思いました。

次回の座談会は、もっと地域を広めて愛媛県の人みんなと話し合えたらと楽しみにしています。

池 本 記録講習は短時間でしたが、これまでの記録への反省点もでき、次からは気をつけて頑張ろうという気持ちと、何よりもマネージャーを必

要としてくれているんだなという、嬉しい気持ちで一杯です。

今回の会を通して、どのチームも勝利を目指して一生懸命なんだということ強く感じました。そして、マネージャーは練習、試合はしませんが勝ちたい気持ちとラグビーが好きだという気持ちは、部員さんと一緒なんだなあと思いました。

井 上 私達の場合、先輩がいないのでスコアづけなど、何もかも独学と経験からやっていました。だから、今回の記録講習会はとても勉強になりました。

普段、試合場などで見かけることがあっても、なんとなくよそよそしくなってしまう、あいさつしようと思ってもできなかったり、なんてこともありました。でも、これからはこれを機に、他校のマネージャーともコミュニケーションできるようにしたいと思います。機会があれば、2回、3回と続けてほしいと思います。

小 松 試合の時に見かけてはいても、話をしたことがなかった他校のマネージャーさんと話し合えて、とても楽しい思い出となりました。他校の人達も本当にラグビーが好きなんだなあと感じさせる発言が多く、仲間意識のようなものを感じました。そして、あんなに強く私はマネージャーなんだと自覚したことは、今までになかったような気がします。

マネージャーという立場は、その人の意識や行動で生まれてくるものですから、プレーしている人達以上にラグビーが好きでないと、存在感のあるマネージャーになれないと考えています。あとに続く人達がみんな、私と同じ思いでやってくれたらと、今はこの思いでいっぱいです。



(左から、井上、池本、小松、黒川さん)

コーチング

世界最強 ニュージーランド・ラグビーの基本プレーを学ぶ

機関誌委員 中野節夫



伊予三島市のラグビー関係者が、地元のレベルアップのために正月休みの2・3日の両日、同市の運動公園グラウンドにおいて、在日中のニュージーランドの名コーチ、デビット・サム・レアリー

氏をお招きして、基本プレーの実技指導会を開催した。

同コーチは別記経歴のとおり、ニュージーランドの名プレーヤーとして活躍。引退後はコーチとして豊富な体験を持ち、現在、日本大学ラグビー部をコーチされており、多忙な日程の合間を縫って来県して下さった。このたびの指導会は、同市在住の県ラグビー協会理事の山中健太郎氏が中心となり、三島高ラグビー部後援会（井上力会長の皆さんの協力と、北条高チーム（宇野由男部長）の特別参加によって実現したものである。

いま、日本の有力大学や社会人ラグビー界においては、ニュージーランドや豪洲のラグビーを導入する動きが顕著である。そんな中であって本県の一地方で、このような指導を受けることができたのは極めて異例のことである。折角の機会であるので是非本誌で紹介したいと思い、取材のために参加した。以下、私見を交えながら指導の一部を述べよう。

〔1月2日〕

三島高、北条高の新チームと三島クラブの選手約50名が受講。午後1時から3時過ぎまで、冷たい雨が降り続く悪条件であった。なお、すべて英語なので分りにくい時は、三島高向井右子先生に通訳して頂きながらのコーチングであった。

(1) 6～7人が1組みとなり、ワンモーション・パスのランパスを、7～8分程度のスピードでタ

デビット・サム・レアリー氏（52歳）略歴

1. プレーヤー歴（1957～1967年）

レギュラーポジション：FBとゴールキッカー

選択ポジション：LWTBとSO

- ・オタゴ代表チーム、オールブラック選考候補者（1959年）、ニュージーランド大学代表、カンタベリー代表チーム、カンタベリー大学主将。

- ・海外遠征 1960年 オーストラリア対NZ大学
1962年 米国・カナダ 対々

1964～1965年 日本 対カンタベリー大学

- ・カンタベリーラグビー連盟の最高得点記録者

2. コーチの経験（1969～1989年）

- ・カンタベリー高校代表、リカートン高校ヘッド

- ・ニュージーランド大学チーム日本遠征

- ・同志大学サマーキャンプ、日新製鋼・関東学院大・ワールドのトレーニングキャンプほか。

現在日本大学の長期コーチ。

3. レフェリー歴

- ・1984～87年 カンタベリーラグビー・レフェリー協会メンバー

- ・1986年 ニュージーランドラグビー・レフェリー協会試験に合格。



左端・英語であいさつする井上後援会長
左から二人目山中氏、その右側へ、レアリー夫人、向井先生、レアリー氏、青木氏

ッチライン間を数回繰り返す。

● 2～3回位、プレーを見ていたが、ワンモーションパスができていないために、自ら実演してみせる。

〔指導〕 ボールの受け手はスロアーの方に上体を向けて両手を出し、ボールを受けると直ちに腰を入れて、パスする方向にきっちりと上体を向け受け手をよく見ながらいねいにパスする。これらの動作が連続した流れのワンモーションであること。プレーヤーの殆んどが、上体の向け方や両手の出し方が不十分であり、3～4歩走ってからでないとパスしない（できない？）からであったように思う。（カット参照）

● つなぎと展開ラグビーのためには、FW、BKともに是非習熟してほしい基礎プレーである。



(2) BKの攻撃に対してFWはプレッシャーをかけたディフェンスの練習。

● BKはSH、SO、CTB、(1人又は2人)WTBの4～5人を、浅く、狭い(2m間隔)ラインを引かせる。FWはBKと同人数を相手スクラムの位置につける。ハーフライン位から、コーナーフラッグ目掛けてBKにトップスピードで、ワンモーションパスで走らせトライを狙わせる。これをFWがディフェンスする。落球したらその位置から続けて走らせる。あくまでもトライをとる、とらせない実践練習である。これを数回くり返す。レアリー氏は1組みのプレー完了までよく見届けてから、次の組みを走らせていた。

大変重要なコーチングのあり方ではないだろうか。ゴール前に迫っておりながらスピードを落としたり、目くらパス。インゴールに入ってもいい加減なパスをしあって落球したり、一向に「トライ」の行為をしなない練習を見かける。普段からトライに執着させるコーチングが必要だと思うのがどうだろうか。

(3) 前項と同じ組み編成をし、BKの攻撃にFWがフォローする練習。

● BKは前と同じように、ワンモーションでパスを回し、FWはポジションに応じたフォローをする。刻々変化して動くボールに対して、各自がいかにして早くボールに接近するか、コースの取り方、走力をつける、FWパスへの切り替え等臨機応変のプレーを実践で身につけ、また応用プレーの基礎となる練習方法であると思う。

● 愛媛のBKラインは、比較的深くて広い場合が多いように思われる。ニュージーランドのラグビーは、「ブラック・ブランケット・パワー」。つまり1枚の毛布位の広さに、黒のジャージを着た選手15人全員が入れるほど、彼らは寄り集ってボールをつなぎ、集団の力で相手を圧倒するという戦法である。レアリー氏によると、BKラインが浅いからゲイン・ラインを早く突破できる(ワンモーション・パスが前提となる)。また、狭いラインだからFWが一步でも早くBKをフォローでき、ボールへの集散に勝てる、と。

チーム個々の戦法だから一概にいえないが、CTBやWTBがFWのバックアップがないままに単独で突込んで敵の飼じきになり、あたらチャンスをつぶしているプレーをよく見かけるが、一考に値する課題ではないだろうか。

(4) ゴロボールのキャッチング

● 膝を折り、腰を落として両手でしっかりとキャッチする練習である。

訓練が十分できていない選手によく見うけられることだが、膝を突張り手先だけで受けようとしている。膝関節の訓練と、確実にキャッチするという意識が大切であろう。

(5) ハイパントのキャッチング

両脇を狭めてボールを抱くようにキャッチする(カット参照)。特に後方を守るFBと、その機会の多いWTBの特訓課題であろう。

(6) モール

特に第二、第三のプレーヤーのモールへの参加の仕方、ボールの渡



し方、受け方、ドライビングの仕方などモールの攻撃プレーについて練習。ついで、防御側の対処など、何回も自身でプレーをして指導された。

(7) 15分ハーフで、三島高と北条高がゲーム。

ゲーム後の評価は「これからもラグビーをするのなら、まずハンドリングとパスを正確にすること。それには練習前にタッチフットボールをするよう」すすめられた。ラグビーの最も基本となるプレーであるので、しっかり訓練してほしい。

〔1月3日〕

当日は参加できなかったので、三島高篠原部長さんの報告をお伝えする。なお、両日の指導内容の詳細については、紙面の都合で割愛したことが多々あるので、同部長さんに照会して頂きたい。

●前日に続いて降雨のため、体育館で受講。

①敵への当たり方

●日本人はケガをする方法をとっている、とのこと。突撃精神も時によりけりと思う。

②自分よりも大きい相手に対するタックルとタックルの受け方。

③ゲームの進め方

●15人全員が知っていなければならないこと、その徹底の仕方。

④スクラムの組み方（雨も上がりグラウンドで）

●弱いスクラムであるが、30分ぐらいのコーチで全く別のチームのようになった、とのこと（篠原部長）

⑤三島高対OBチームのゲーム（20分3本）

●レアリー氏が高校チームの監督となってアドバイスを送る。ゲーム前に注意すべきことを明確にしておき、その評価を必ず選手に知らせていたが、適確なコーチングでよい勉強になった。

以上、わずか二日間のコーチングであったが、選手達にとってはおそらく一生に一度の経験であり、非常な刺激を受けたことと思う。今後のプレー向上に大いに役立ててほしい。

2日夜、レアリー夫妻と関係者として夕食を共にして語り合った。その中で印象に残ったのは、

Q：指導者は何をコーチすべきか、大方のことはよく承知している。しかし仲々徹底しにくい。何かよい方法はないだろうか。

●レアリー氏は、ニュージーランドと日本のラグビー環境の違いではないか。ニュージーランドでは幼小の頃からボール遊びをしながら、基本プレーを肌身につけている、とのこと。少年スクールの充実、中学生ラグビーの定着が一層のぞまれることを痛感した。

Q：フランスのシャンパンラグビーについて。

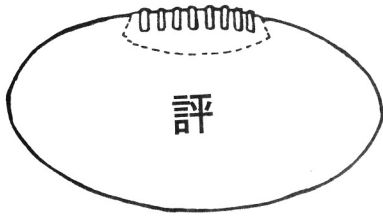
●レアリー氏は、フランスのラグビーには波があり、強さと弱さがある。ニュージーランド・ラグビーは、確実に勝つ、つねに強いラグビーである、と自分達のラグビーを信じ切っている。

勝つラグビー!!そのための練習に一層の精進と努力を期待してやまない。

練習開始前のウォームアップ

レアリー・コーチは先頭に立って走り、周りの選手につねに笑顔で語りかけている。リラックスムードづくりか。





はまなす国体

全愛媛少年・成年1部とも初戦一歩及ばず

第44回国民体育大会は、北の大地北海道で9月17日から6日間にわたって行われ、ラグビーは札幌市の月寒競技場（成年）、野幌総合運動公園（少年）で開催された。全愛媛は少年と成年1部に昨年に続いて出場した。

【少年】

1回戦 9月17日 野幌総合運動公園

埼玉14 $\left(\frac{8-0}{6-10}\right)$ 10全愛媛

少年は17日、1回戦で優勝候補の一つにあげられていた熊谷工などを中心に編成した埼玉と対戦した。

前半、愛媛は自陣に攻め込まれながらも必死に耐えたが、18分、24分とゴール前のモールを押込まれ2トライを先行された。後半に入ると愛媛が本来のリズムをとり戻し、3分、自陣22mのラインアウトから坂田が突進し、No.8坂本にリターンパスが通り右スミトライ。さらに15分には相手のキックを大北が受け、TBラインにつなぎ岡崎が20m独走して右中間にトライ。ゴールも成って10-8と逆転に成功。しかし埼玉は20分、愛媛のボール処理の悪さをFWがうまく突いて右スミにトライ、ゴールも成功してこれが決勝点になった。

【成年1部】

準決勝 9月18日 札幌市月寒屋外競技場

北海道19 $\left(\frac{7-0}{12-15}\right)$ 15全愛媛

5・7位決定戦 9月20日 札幌市月寒屋外競技場

長崎70 $\left(\frac{40-0}{30-3}\right)$ 3全愛媛

成年1部は初戦で地元の北海道と対戦した。前半風上に立った北海道は2分、PGで先行。さらに17分にもトライを加え7-0とした。風下の愛媛としてはよく攻撃に耐え後半を迎えた。後半4分、北海道は追加トライを入れ（ゴール成功）13-0とリードを広げた。これまでは全くの北海道ペースだった。しかし7分、SO菊池がPGに成功して反撃の糸口をつかみ、13分には相手陣ゴール前のラインアウトから河本がトライ、ゴールも成功13-9と追い上げにかかった。ところが25分、北海道はバントから右オープンに回してトライを加え、ゴールも成って19-9と差を広げた。これが愛媛にとっては致命傷となった。このため28分、スクラムから菊池一森一中矢とつないでトライ、ゴールも成ってあと一歩までせまったが及ばなかった。

成年1部の5、7位決定戦は三菱重工長崎の長崎と対戦したが、北海道戦で燃焼し尽したのか1PGのみの70-3の大差で敗れ、7位が確定した。



平成元年8月
成年1部強化試合
対京都教育大戦

ハンドオフでタックル
をはずし、突進する
全愛媛バックス

第40回全国地区対抗大学大会

中・四国地区予選

松山大 12年ぶり19度目の代表

40回目の記念すべき大会で、松山商科大学から総合大学へ改称をした松山大学が県予選、四国、中四国地区予選を勝ち抜き12年ぶり19度目の全国大会への出場を決めた。

【県予選】 11月3日、松山大学グラウンドで松山大学と愛媛大学との間で決勝が行われ、前半は愛大が健闘したが後半に松山大がつき放し28-4で勝ち県代表として四国地区予選への出場を決めた。

決勝 11月3日 松山大学グラウンド
松山大学28($\frac{4-0}{24-4}$) 4 愛媛大学

【四国地区一次予選】 11月12日、松山大学グラウンドで徳島大学と松山大学が対戦、前半31点、後半38点とコンスタントに得点を重ねた松山大学が大勝、四国地区決勝に進出を決めた。

一次予選 11月12日 松山大学グラウンド
松山大学69($\frac{31-0}{38-4}$) 4 徳島大学

【四国地区代表決定戦】 11月19日、松山大学グラウンドで香川大学を破って進出の高知大学と松山大学の間で行われた。松山大は前半1トライ、1PGを決めて主導権を握り、後半2PGを加え13-0で優勝。四国代表として中四国代表決定戦に進出を果たした。

決勝 11月19日 松山大学グラウンド
松山大学13($\frac{7-0}{6-0}$) 0 高知大学

【中・四国代表決定戦】 全国大会への最後の関門、中四国地区代表決定戦は11月26日、愛媛県総合運動公園補助グラウンドで広島大学と松山大学の間で行われた。松山大学は前半PGで先行して3-0とリード。後半に4トライ3ゴールを加え、広島大の反撃を6点に押え25-6で勝ち12年ぶり19度目の全国大会の出場を決めた。

代表決定戦 11月26日 愛媛県総合運動公園補助G
松山大学25($\frac{3-0}{22-6}$) 6 広島大学

全国大会

松山大同点 トライ数で
山梨学院大に惜敗



12年ぶりに全国大会に出場した松山大チーム

第40回全国地区対抗大学大会

12年ぶり19度目の全国大会への出場を決めた松山大学は1月2日、愛知県口論義運動公園で関東第2地区代表の山梨学院大学と対戦した。松山大は前半1PG、1トライを奪われ7-0とリードされた。しかし、次第にリズムをとり戻した22分、中央線付近のスクラムからNo.8南方が右サイドを突破SH豊田がうまく抜け出しゴール中央にトライ7-6と追い上げた。さらに1トライ1ゴールを加え逆転。後半に勝負をかけた。後半4分、松山大は自陣でのモールからオープンに回しFB青野が中央トライ。さらにリードを広げた。しかしこのあと山梨に2トライを反撃されさらにノーサイド直前の34分には同点トライを奪われ21-21の同点とされた。この結果、大会規定によりトライ数で勝敗を決することになり松山大の3本に対し山梨の4本が上回り同点敗退を喫することになった。

1回戦 1月2日 口論義運動公園

山梨学院大学 (21) $(\frac{7-12}{14-9})$ 21松山大学

(同点、トライ数により山梨学院大の勝)

12年ぶり 久々の全国大会へ
同点で惜敗 ミス、反則を反省

松山大学 主将 青野 雅 則

昨年11月26日、広島大を25-6で降し、12年ぶり19度目の地区対抗大会出場を決めた。年が明けて1月2日から大会が始まり、初戦の相手は関東2区代表山梨学院であった。

いささかの不安と緊張を感じ10時30分K・O。

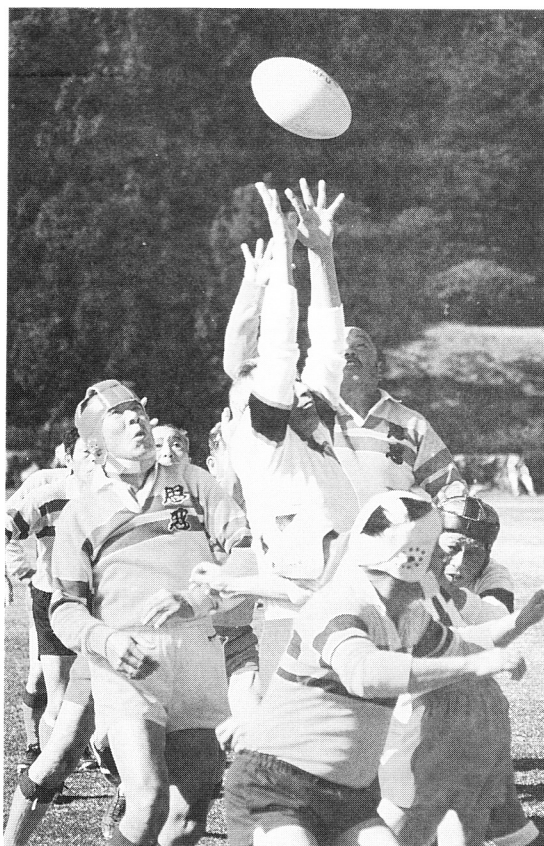
前半、PGとトライで7点を取られたが、スクラムで押されることもなく、BKもそれほどプレッシャーを受けていない。取り返す自信は十分あった。サイド攻撃から6点を返し、その後、敵ゴール前相手のラインアウトのこぼれ球を押さえて逆転に成功。いづれも我々チームの得意とするトライの形であった。

後半開始直後にも1トライを加え11点差となり、流れは完全に我々のものになったと思った。しかし中盤に1PGを決めたものの2本のトライを返され、余裕も殆んど無くなってきた。終了間際にもトライを奪われて21-21の同点、そのままノーサイドの笛が鳴った。当然のごとく抽選を覚悟して待っていたが、その必要はなかった。トライ数4対3で山梨大準決勝進出、のアナウンスが流れた。トライ数など全く気にしていなかった私は、嘘をつかれた思い

であった。12年ぶりに出場の結果は、関係のみなさんの期待を裏切り、初戦敗退となってしまった。

敗因は、精神的に余裕を持つことができず、最後までミス、反則を繰り返してしまったこと。特にディフェンスが崩れたことと、キックミスで大きなピンチを再三招いたことが反省される。この大会に出場することを目標にし、試合での集中力と実力発揮を最重視してきた我々であったが、それらが殆んどできず、内容の悪い自滅に近いものであった。

全国大会に出場して、どんな相手と対戦しても通用する体力を身につけねばならないことを痛感したが、それ以上に、田舎チームに見られがちな精神的な弱さを克服する必要があると思った。後輩達には、今よりも高いレベルのラグビーに取り組んでもらいたいと願っている。



H.1.11.26 総合運動公園補助G

思惑ク 対 大工大高OB、赤黄バン頑張る
出場を決めた。

第20回全国高専ラグビー大会

四国地区予選

新居浜工専2度目の四国代表に

1回戦 11月25日 弓削商船グラウンド

阿南工専 $39\left(\frac{29}{10}-\frac{0}{0}\right)$ 0 弓削商船

新居浜工専 $28\left(\frac{12}{16}-\frac{0}{0}\right)$ 0 高松工専

今大会で20回目にあたる記念大会のため、今大会から四国代表がそのまま全国大会に出場できることとなった。四国地区予選に出場したのは、愛媛の弓削商船、新居浜工専、徳島の阿南工専、そして今大会初出場の高松工専の4校。1回戦は阿南工専と弓削商船、新居浜工専と高松工専がそれぞれ対戦したが、阿南と新居浜がそれぞれ相手に得点を許さず一方勝ちをして決勝進出した。

決勝 11月26日 弓削商船グラウンド

新居浜工専 $12\left(\frac{6}{6}-\frac{0}{8}\right)$ 8 阿南工専

代表決定戦はここ数年、阿南工専と対戦しても敗れたことのない新居浜工専は前半に1トライを入れ固いディフェンスで阿南に得点を許さず6-0。後半にも1トライ1ゴールを加え、阿南に2トライを返され反撃を受けたがよく持ちこたえ、12-8でこれを破り3年ぶり2度目の代表として全国大会に出場を決めた。

全国大会

新居浜工専初のベスト8に

1回戦で富山商船を破る

1回戦 1月3日 神戸市立高専グラウンド

新居浜工専 $10\left(\frac{10}{0}-\frac{0}{4}\right)$ 4 富山商船

第20回全国高専大会は1990年1月3、4、6、8の4日間にわたり神戸総合運動公園陸上競技場に代表12校が参加して行われた。四国代表として3年ぶり2度目の全国大会に出場の新居浜工専は1回戦で北陸代表の富山商船と対戦した。

新居浜工専は主将のプロップ松口を負傷で欠きFW戦ではや、劣勢に回ったものの、前へ前への意識が相手に対する無言のプレッシャーとなり反則を誘い出した。前半4分、SO守田がPGを決めて先行。さらに15分にもPGを成功させ6-0と優位に立った。さらに前半終了前に自陣右中間10mラインのラックから左に回し、右CTB吉田が左スミに飛び込みリードを広げた。

後半に富山は1トライを返して反撃を試みたが、新居浜はこれをよくしのいで結局10-4でベスト8へ進出を決めた。

▼全国大会出場の新居浜工専チーム



第20回全国高専ラグビー大会

準々決勝 1月5日 神戸総合陸上競技場

都城工専54⁽²²⁻⁰⁾₍₃₂₋₀₎ 0 新居浜工専

初のベスト8進出の新居浜工専は準々決勝で強豪で前年度優勝の都城工専と対戦した。1トライを目標にして全力でぶつかった新居浜工専だったが、力の差はどのような手のほどこしようもなく、前半5トライ1ゴール、後半7トライ2ゴールを挙げられ結局54-0の、今大会最大の得点を相手にとられて敗退した。しかし、全国トップレベルの試合を経験した収穫は大きいものがあり、今後の新居浜工専をはじめ県内、四国地区の高専ラグビー界に与える影響は大きい。

憧れのユニバーシアードへ 怪我人続出でも初の1勝

新居浜工業高専5年
主将 松口 猛

今年の目標は「神戸で1勝、が、新居浜高専ラグビー部の目標だった。それには四国で優勝しなければならぬが、本当のところ不安だった。それというのも、ここまでラグビー部を育てて頂いた大原先生(元全愛媛代表)がいなくなり、学生の力でここまでチーム作りができるのか心配だったのである。そして夏のリーグ戦では、どうにか優勝を勝ち取ることができ秋の大会への目途が立ったと思っていると、今度は怪我人の続出だった。

夏合宿でハーフの得能が、四国大会1か月前にセンターの村上剛、一週間前にS O森田とNo.8田中といった工合であった。幸いなことに村上以外は全員四国大会へは出場でき、どうにか神戸への道をつないだと思った。しかし今度は全国大会一週間前に、私の靭帯切断とWTB岡田の怪我で、まともなベストメンバーで試合に臨むことができなかった。こんな調子で1回戦の富山高船と対戦したが、我々のチームには好運の持ち主がいたのだろうか、10-4で勝ってしまった。

この試合の開始早々FWがスクラムで負けていた。特に3番の通称ババが苦しそうに組んでいる。この時、3年前の全国大会のことが脳裏に浮かんだ。「やばい」と思っていたら、相手のミスから立て続けにペナルティーをとり、ゴールを決めて6-0。ハーフ団の好判断から左隅に吉田がトライをあげて10-0で前半を折り返した。

“やれる、勝てる”と思っていると、後半に悪い癖がでてきた。相手が弱いと見たら全員が個人技に走ってしまうのだ。チャンスを潰し、スタミナが切れたところを1つトライを奪われてしまったが、そのままノーサイドとなり、記念すべき全国大会1勝をあげることができた。

5年連続四国大会1位の座を守り、全国大会で初めて勝ち、2回戦ではユニバーシアードのグラウンドも踏めた。私自身が最後の試合に出られなかったこと以外は、すべて良かったシーズンだったと思う。高専はラグビーに対して良い環境ではないが、後輩に望むことは、全国大会出場への道のりは近いと思われるので、来年も好運(好運だけで全国へは行けないが)を利用して、ユニバシアードで1トライ、1勝をあげて、新居浜高専ラグビー部の良い伝統を残して行ってほしい。

お知らせ

'90愛媛ラグビーカーニバルの開催

恒例の愛媛ラグビーカーニバルは、来る5月27日、県総合運動公園球技場と補助グラウンドに、小学生からオールドラグーマンに及ぶ全クラスのプレイヤーが集まって、厳しい中にも和やかなラグビーの祭典を繰り広げることになった。

メインは、国体少年のレベルアップを狙って、九州、関西の名門校を招待する計画がすすめられている。これが実現すると、新人大会優勝の新田高単独チームと、新田高以外の県下高校から選抜したチームとが対戦する。

四国ラグビースクール大会や近県小学生ラグビー大会で活躍した北条と松山のスクール対戦、また二年連続関西中学生大会で準優勝している中学生ラグビー、大学と国体成年2部チーム、オールドラグー東西対抗など盛り沢山のゲームが予定されている。

なお、高校総体実施中の6月3日には、香川の強豪コスモを迎えて国体成年1部チームが、堀之内ラグビー場で対戦する計画もすすめられている。

DREAM COME TRUE

B-1616

会心のパス、逆転のキック、勝利のトライ
夢を実現するのはいつもコンバートラグビーボール。

B-1616

コンバートRG-5

¥6,700

●サイズ/国際規格

●カラー/ホワイト

●特殊ゴム

Rugby Goods

NO-SIDE

〒790 松山市勝山町1丁目7番地18

TEL (0899) 41-1933



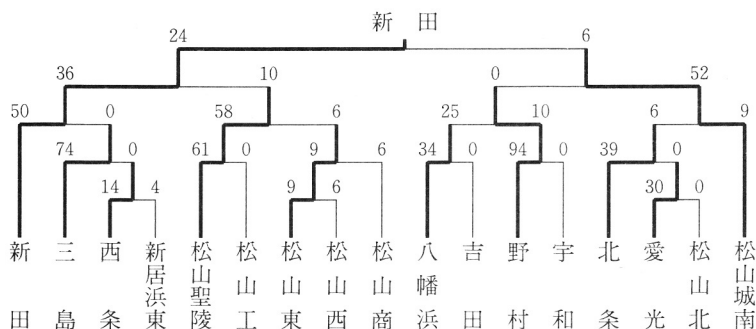
コンバート株式会社

●本社/〒534 大阪市都島区東野田町3-1-3 TEL. (06) 352-5381 FAX. (06) 356-0316
●東京営業所/〒169 東京都新宿区高田馬場4-10-8 TEL. (03) 362-0035 FAX. (03) 364-2454

第69回全国高校ラグビー大会地区・県予選

新田高が12年連続30度目の全国大会へ

【過去10年間の県決勝記録】



昭54	新田	50-4	八幡浜
昭55	新田	48-4	松山聖陵
昭56	新田	19-14	松山聖陵
昭57	新田	31-3	松山聖陵
昭58	新田	46-15	松山聖陵
昭59	新田	52-0	松山西
昭60	新田	24-4	松山西
昭61	新田	20-6	北条
昭62	新田	24-9	松山城南
昭63	新田	46-0	松山城南

東予地区予選 県予選への代表の座一校をめぐる三島、西条、新居浜東の三校が激突した。一回戦の西条一新居浜東戦は前半2トライ、1ゴールを挙げた西条が新東の反撃を1トライに押えて前年の雪辱を果たした。代表決定戦は総合力で優る三島が西条を寄せつけず74-0の大差で東予地区代表の座を獲得した。

中予地区予選 例年どおり五校の代表の座を、伊予農を除く十校で争った。新田、松山城南の二校が推せて出場権を獲得。残る三つの代表を八校で争った。その結果、一回戦二試合は松山東と愛光が松山西、松山北をそれぞれ破って勝ちあがり、代表決定戦では松山聖陵が61-0で松山工を、松山東は9-6の接戦で松山商を破り、北条は39-0の大差で愛光を下して中予地区の代表となった。

南予地区予選 県予選への代表の座二校を八幡浜吉田、野村、宇和の四校で争った。今年も上位二校と他校の力の差は大きく、八幡浜34-0吉田、野村94-0宇和の結果で、例年どおり、八幡浜、野村の二校が南予地区の代表として県予選出場を決めた。

県予選 東予、中予、南予の各地区予選を勝ち抜いた、三島、新田、松山城南、松山聖陵、松山東、北条、八幡浜、野村の八校が出場して県代表を争った。東予、南予は前年と同じ顔ぶれであるが中予地区では松山東が4年ぶり、松山聖陵が2年ぶりの県予選出場となった。一回戦四試合は新田と松山城南をシード校に選び、残る6校をフリー抽せんにした。この結果、皮肉にも昨年同様の野村-八幡浜の南予勢の対戦が今回も実現することになった。第一試合目の新田-三島は新田が三島を寄せつけず50-0で

圧勝。注目の南予対決は昨年に続いて八幡浜が25-10で野村を破ったのをはじめ、松山聖陵-松山東は58-6で聖陵。最も接戦が予想された松山城南-北条は先行した北条を城南が激しく追い上げ9-6の僅差で準決勝進出を決めた。

準決勝は新田-松山聖陵、八幡浜-松山城南の間で争われた。新田-聖陵戦は前半聖陵が大健闘を見せ後半に期待がかかったものの、新田につき放されてしまった。続く松山城南-八幡浜戦は前半から城南が終始圧倒し大差で決勝進出を決めた。

決勝は予想通り順調に勝ち抜いた新田-松山城南のシード校の対決となった。両校の対戦は三年連続三度目。前半は城南の好ディフェンスで接戦が予想されたが、後半に新田がペースを握って24-6で勝ち12年連続30度目の全国大会出場を決めた。

今大会の地区、県予選には昨年より一校少ない17校が参加した。今年も新田を頂点とする県内勢力図に変化はなかったものの、新田に続くチームの実力差が紙一重でひしめき合う状況が作り出され、これらのチームの争いが、新田の力量との格差に少しではあるが近づいたようにも感じられた。又、従来の東、中、南予の地域差も三島や八幡浜などの奮闘で少しづつ解消されている状況は今後県勢のレベルアップの点で期待されるものがある。

1回戦 11月12日 八幡浜・大洲運動公園

新田50⁽²⁴⁻⁰⁾₍₂₆₋₀₎0三島

新田は重量を前面に仕立て前半から三島ゴールを次々と割って得点を重ねた。前半5分、ゴール前10mスクラムからロックの井上が中央へ先制のトライを挙げたのに続き、8分にはWTB大北。15分にはNo.8坂田が押えて好スタート。さらに20分、25分と

オープン攻撃で大北とCTB西川が独走してトライを奪い前半で勝負を決めた。後半になっても新田は手をゆるめず見事なオープン攻撃でトライを連取したほか、自陣からも積極的に展開するなどして、5トライ、3ゴールを奪い26点を追加。合計50-0の大差で三島に一方勝ちした。東予地区代表の三島は大型FWの新田との激突でFWが劣勢に回り、攻撃の糸口が全く見出せないま、前年同様に1回戦で敗退した。

1回戦 11月12日 八幡浜・大洲運動公園

松山聖陵 $58\left(\frac{18-0}{40-6}\right)$ 6 松山東

松山聖陵が終始ペースを握り、前半4トライ、1ゴール。後半8トライ、4ゴールを挙げて圧勝した。

前半9分、聖陵はSO島矢のハイパントからWTB山本へ渡りそのまま、右中間へトライして先制。松山東がリズムを作りあげる間をうまく攻めた。さらにこのあと3トライ、1ゴールを加え、前半18-0とした。後半になっても松東の動きが鈍く、この間について聖陵は得点を加えた。4分にはフッカー北野が押え、10分にはCTB山西、さらに右WTB山本、FB水安らが次々にトライを重ね松東の反

撃の糸口を作らせなかった。1、2年生でチーム編成の松東は6分、相手パスミスのボールをSH谷本がうまく出して右WTB北に渡し右中間にトライ、ゴールも成って得点をあげたのみにとどまった。

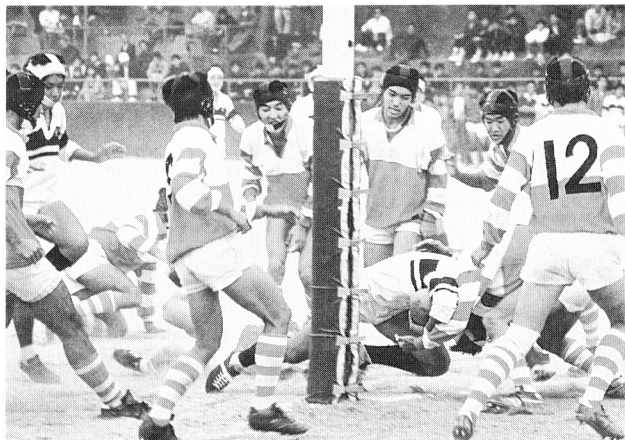
1回戦 11月12日 八幡浜・大洲運動公園

八幡浜 $25\left(\frac{15-6}{10-4}\right)$ 10 野村

前年同様の南予対決は試合巧者の八幡浜が後半追い上げる野村をうまくかわして準決勝進出をきめた。

先制したのは八幡浜で、前半開始早々、野村陣10mラインのモールからFB崎田が中央へトライ。ゴールも成功して6-0とした。さらに12分にはPGを決めて追加。17分にはゴール前5mのモールをFWが押し込みトライ、ゴールも成功して大きくリードした。これに対し野村は20分、モールからCTB熊野が中央にトライ15-6で前半を終った。

後半に期待のかかる野村だったが、反撃モードに乗らせまいとする八幡浜は2トライ、1ゴールを加えて野村をさらにつき放しほぼ勝負を決めたが、必死に反撃する野村は、25分、左WTB榊原が左タッチライン沿いに50m独走して左スミにトライ。意地を見せたが及ばなかった。



1. 11.5 中予地区予選

◀ 北条一愛光

北条もぐり込んでトライの寸前

1. 11. 5 中予地区予選

聖陵一松工 ▶

聖陵の突進にタックルで立ち向う松工



1回戦 11月12日 八幡浜・大洲運動公園

松山城南 9 ($\frac{6}{3}-\frac{0}{0}$) 6 北 条

一回戦4試合の中で最も注目され、好試合が予想された城南—北条戦だったが、全くその予想通りの1トライを争う試合展開となった。先制したのは北条で、前半4分、自陣10m付近のスクラムからSO吉野がハイパント、CTB広瀬が突進してボールを拾い、約40m独走して右中間にトライ。ゴールも成功して6—0とリードした。これに対し城南は13分と23分にPGを成功させ6—6の同点とし前半を終った。後半に入っても両チームの激しい攻防が続いた。特にスクラムでは北条が押し込みで城南にプレッシャーをかけたが、城南はここをよくしのいだ。

26分、北条陣に攻め込んだ城南はSO前田がPGを成功させリードしたが、これがそのまゝの決勝点となった。北条はノーサイド直前にPGのチャンスがあったがこれを外し涙をのんだ。

準決勝 11月19日 県総合運動公園球場

新 田36 ($\frac{10}{26}-\frac{10}{0}$) 10 松山聖陵

前半、松山聖陵の大健闘で試合の行方を面白くさせたが、後半に入ってペースをつかんだ新田が善戦する聖陵を振り切った。第一シードの新田は前半、ラックやモールのFW戦で聖陵に押され苦戦した。前半7分、新田は右5mのラインアウトからFWが押込んでそのまゝトライして先制。しかし聖陵は15分、No.8日浦が右スミへ押え同点とし、さらに20分にはPGで7—4と逆転。新田は25分に中央ラインアウトから左へ回し左WTB大北が50m独走中央トライ。ゴールも成って7—10とした。聖陵はこのあとPGを決め10—10の同点でハーフタイム。後半になると新田FWが球を支配。8分、22mスクラムから、右WTB町田が右スミトライ、10分、13分にはSH河辺の好判断からトライを連取し、聖陵を突き放した。聖陵は後半自らの攻撃が出来ずノートライ。前半の善戦のみに終わった。



◀ 1. 11. 19

準決勝

新田—聖陵

新田FWサイド
を突きトライ寸前

1. 11. 19 ▶

準決勝

城南—八幡浜

城南の突進をタックルで阻む八幡浜



準決勝 11月19日 県総合運動公園球技場

松山城南52 $\left(\frac{26-0}{26-0}\right)$ 0 八幡浜

FW、BKの総合力で上回る松山城南が八幡浜を全く寄せつけず圧勝し決勝進出を決めた。城南は前半6分、FWがモールを押し込み先制のトライ。さらに10分にもFWが押し込んでリードした。又、14分には八幡浜ボールのラインアウトを奪ってフッカーセンター田中が左中間にトライ、ゴールも成って大きくリードした。

後半に入っても手をゆるめない城南は、激しくタックルに入る八幡浜の攻撃を受けながらもうまくなどでオープンに回す一方、SO前田の好ステップから、自らもトライを奪うなどして6トライ、1ゴールを加えて圧勝した。八幡浜はFW戦で敗れ、好タックルで城南の攻撃を防いだものの、自ら攻撃的なラグビーを展開することができなかった。

決勝 11月23日 県総合運動公園球技場

新田24 $\left(\frac{4-0}{20-6}\right)$ 6 松山城南

前半は新田が松山城南の猛タックルに会って苦戦した新田は後半になってその実力を発揮。甘くなった城南のディフェンスラインを次々と突破して4トライ、2ゴールを加え、24-6で12年連続の花園出場を決めた。新田は前半3分、ゴール前10m付近のモールからSH河辺が左サイドを抜け出して先制のトライを奪った。しかし、城南はFW戦で互角に渡り合い、堅いディフェンスでこれ以上のトライを許さなかった。後半になっても城南が健闘10分頃まで

試合は動かなかった。しかし、11分、実力に優る新田は中央付近のラックから河辺が持って出てフォローしたCTB門田が右中間にトライし試合が動き出し13分にはオープン攻撃でWTB町田が中央トライ。さらに20分に左フランカー上月。25分にはFB田中がトライして勝負を決めた。城南は18分にCTB中矢が右中間にトライして反撃の態勢を作ったが後が続かなかった。



▲細田会長から優勝旗をうける新田高主将

決勝 新田 — 松山城南
城南の突破を2人がかりで阻む新田



第69回全国高校ラグビー大会

新田 1回戦で敗退

作新学院にノートライ

大会出場の2年生を中心に 花園での経験を生かしてほしい

新田高主将(CTB) 西川 明 良

1回戦 1989年12月28日 花園第1G

作新学院14 $\left(\begin{smallmatrix} 0 & - & 0 \\ 14 & - & 0 \end{smallmatrix}\right)$ 0 新 田

12年連続30度目の全国大会出場の新田は一回戦で栃木県代表の作新学院と対戦した。

前半の新田はFW戦で優位に立ち、終始ボールを支配。開始早々から作新陣内へ深く攻め込んだ。重量FWが攻撃の主導権をもってゴールライン5mまで何度も何度も迫ったが、作新の固いディフェンスを突破することができなかった。又、ラインアウトやスクラムから多彩な攻撃を仕掛けNo.8坂田やWTB大北を走らせたが、作新のタックルは鋭く、タッチラインに押し出されるなど得点に至らず0-0のまま前半を終了。後半になるとこれまで耐えてきた作新のディフェンスが逆に鋭い攻撃力となってあらわれ4分、5mスクラムから作新の右WTB山中に右スマにトライを許し先行された。新田は後半になってボールの支配力が低くなり攻撃力も低下。逆に作新は6分、18分と甘くなった新田のディフェンスのスキを衝いてたみかけ勝負を決めた。

平成元年12月28日、第69回全国高校ラグビー大会の1回戦で、栃木の作新学院と対戦した。14-0で1回戦を突破することができなかった。一生懸命戦ったが作新学院には勝てなかった。

前半、FWがよく頑張り、敵陣に攻め込んでいた。何度かゴールに飛び込みトライを取るチャンスもあったが、ゴール前の決定力と集中力がないために、トライを取ることができなかった。

このまま後半も攻め込み、みんな勝つ気であったが、BKのディフェンスの甘さと、FWの前半の攻め疲れから、立て続けに2トライを許してしまい、最後は、モールを押し込まれて駄目押しのトライを取られ、試合は終わってしまった。

全国大会で作新と試合してまず思ったことは、チャンスの時やゴール前での集中力と、攻撃やディフェンスの時の判断がとても大事だということ、あらためて知らされた。また、組織プレーが徹底できていないといけないということである。これは練習の時にできていても、試合でできないればなんの意味がないものだとも痛感させられた。

この大会で試合に出れた2年生は、負けはした

けれど良い経験ができたと思う。このことを生かして2年生が中心となり他の部員を引っばってほしい。そして、花園での悔しさを二度と味わわないよう頑張してほしい。そのためにも、全国大会で勝ち上っていきけるような、プレーでも精神面でも強いチームになってほしい。



1 H.1.11.23 県予選で優勝し全国大会に出場した新田高チーム

第5回愛媛県中学校ラグビー大会 兼第10回関西中学生ラグビー大会県予選

創部1年目、松山南第二中が初優勝

県中学校体育連盟

専門部長 小川 敏

回を重ねるごとに、中学生の技術向上が見られるようになった。各校の先生方の熱意がよいプレーを生み出し、生徒達のラグビーに対する取組みも意欲的になり、個々のプレーを見ていると力強さが出て頼もしいかぎりである。

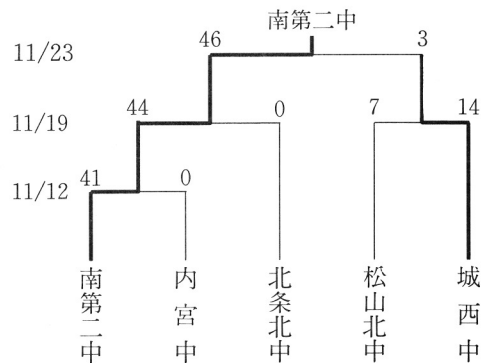
今回は城西、内宮、松山北、南第二、北条北の5チームが参加して行われた。ここに毎年優勝を飾り、関西大会においても一昨年は準優勝、昨年は天理中と二校優勝という輝やかな実績を残し県中学校のリーダー的存在である愛光中が不参加になったことが非常に残念であった。

愛光の不参加で、どのチームにも優勝のチャンスがあり接戦が予想された。結果は南第二中が優勝したが、課題も多く残っている。中学総体終了後に選手を集め、7月頃から活動を始めたが、チーム結成が遅かったために個人技に頼り、チームプレーとしてはもう一歩であった。FWは体重もあり、前3人の平均は85kg。スクラムでは3試合とも押し勝ち試合を有利にすすめていたが、モール、ラックでは他校に支配される場面が幾度かあった。BKは全員脚力があり、半マークでもずれるとトライをする場面が何度かあった。今後は花園での関西大会に向け、タックルとFWの走力、

チームワークに重点を置き頑張ってもらいたい。

城西、北条北、内宮とも2年生が主体のチームでありながらよく健闘した。今後、力をつけて来年は今年以上にハイ・レベルの試合が期待できると思っている。殊に、松山北は内宮から分離した新設校にもかかわらず、城西戦では敗れはしたものの、素晴らしい試合内容で健闘が光った。

この大会を通して、各校とも父兄や友達の応援が多く、選手達に一段とやる気を起こしてくれたとも思うとともに、中学校ラグビーが浸透してきたことを嬉しく思っている。



1回戦 11月12日 堀之内ラグビー場

南第二中41 $\left(\begin{smallmatrix} 16 & 0 \\ 25 & 0 \end{smallmatrix}\right)$ 0内宮中

南第二中は、公式試合初挑戦ということで、試合経験の豊富な内宮中に、どこまで対抗できるか興味深かった。前半開始2分、内宮中のSOからのキックを、南第二中左ウイングが取りFWにつなぎ、モールから出たボールを右オープンに回し、右センター沖中が右中間にトライ。その後、15分

三好、21分中津、24分山本とトライを重ねた。

後半に入っても南第二中のFW、BKによるランニングラグビーで5トライ1PKを決め、内宮中の反攻を許さなかった。

準決勝 11月19日 県総合運動公園補助競技場

南第二中44 $\left(\begin{smallmatrix} 12 & 0 \\ 32 & 0 \end{smallmatrix}\right)$ 0北条北中

北条北中のキックオフのボールを、南第二中FWが取りラックになり、こぼれたボールを左ウイング鶴田が拾い、そのまま70m独走してトライ。その後お互いに決め手を欠き、トライには結びつかなかったが、終了間際に南第二中がペナルティをもらい、FWが突込みラックになったボールを、No.8中津がもぐってトライとなる。

後半に入れば南第二中の一方向的な試合運びとなり、6トライ4ゴールを決めたが、北条北中の最後まであきらめないプレーには、2年生中心のメンバーだけに来年が楽しみである。

城西中 $14\left(\frac{0}{14}-\frac{0}{7}\right)$ 7 松山北中

前半、お互いに走り回り、チャンスはあったが最後のつめがなかった。それ以上にディフェンスが良かった。

後半10分、城西中が相手ゴール前のスクラムを押し切り、スクラムトライを奪う。14分には相手陣22m付近のモールから、3番松本がサイドを突きトライ。16分には左オープンに回して12番白石

がトライ。このまま逃げ切るかと思われたが、松山北中も24分にペナルティをとり、ゴール成功。ゲーム終了間際には相手陣22m付近のラックより右サイドを突き、2番江戸がトライし、最後まで城西中を苦しめた。新設校でありながら、本当に良く頑張ってくれたと思う。

決勝 11月23日 県総合運動公園球技場

南第二中 $46\left(\frac{14}{32}-\frac{3}{0}\right)$ 3 城西中

決勝戦で観客が多いということもあってか、前半の始めはお互いに緊張していたようだ。6分、南第二中は相手ゴール前のスクラムからNo.8がサイドをつき、右ウイング大野に繋いでトライ。その後16、19分とBKが走ってトライを重ねる。24分、城西中は相手のオフサイドによりペナルティゴールをねらい成功。

後半に入って南第二中が6トライ、4ゴールと点差では大きく上回ったが、城西中2年生のメンバーの地道なプレー、まじめなプレーは称賛されるものがあり、今後に大きな期待が寄せられる。



▲ H.1.11.19 準決勝 南第二 VS 北条北
南第二の突進を阻む北条北



▶ 同準決勝 城西 VS 松山北

南第二中 初出場でB・準優勝

第10回関西中学生大会

南第二中部長 小川 敏

今回、二年連続して大会出場の愛光中学に代って、南第二中が出場したが、果たして関西大会のレベルに通用するだろうかと不安があった。

甲南中との一回戦。ゲーム開始前はリラックスモードであったが、いざ始まってみると全員足が地につかず、7点先制された時には、一体何点取られるのだろうかと心配になり、恥ずかしくない試合をしてほしいと願うばかりであった。

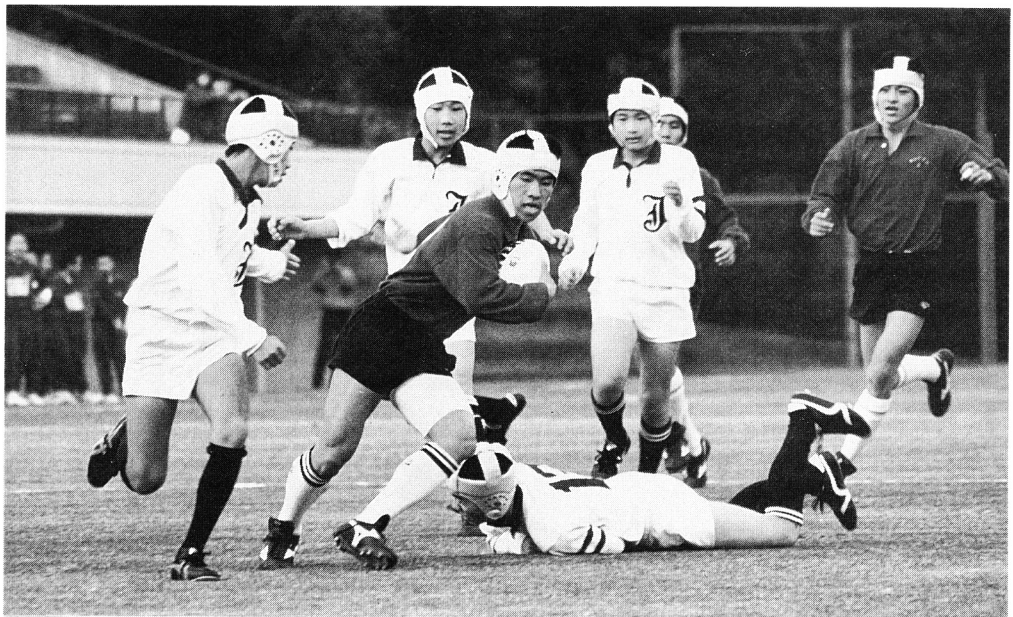
流れを変えたのは「タックル」というラグビーの基本であった。ピンチをしのいだ選手達は、南第二中の得点パターンであるBKに展開することを忠実に守り、最後はFWがいい形でBKにボールを供給し、WTBがトライする理想的なゲーム運びができ、一回戦を勝つことができた。花園で一勝したことにより決勝での期待も出てきた。

決勝の相手は天理中。毎年関西大会に駒を進め、本当にラグビーをよく知っており、各自が何を今すべきかを心得ているチームなので、南第二中のラグビーがどこまで通用するか楽しみにしていた。

試合開始直後にWTB鶴田が60m独走し、左隅にトライしたことで一段と期待も大きくなったが実力的に一枚も、二枚も上の天理中に、その後は押され、自分達のラグビーをさせてもらえず、準優勝に終わった。

南第二中は、6月の総体後に各種目の選手に呼びかけたところ、今まで部活動に入っていなかった生徒達も何人かが入り、陸上、相撲、バスケット、水泳、野球等の部員等、29名の生徒が集った。3年生だけに進路も控えているが、勉強との両立を目指しほんとうに最後までよく頑張ってくれたと思う。

愛媛の中学生ラグビーが、3年連続して決勝に残っているので、これから先、どの中学校が出てても期待が持てるのではないかと思っている。



H.1.11.23. 決勝 南第二中 VS 城西中 タックルをかわして進む南第二中

関西中学大会

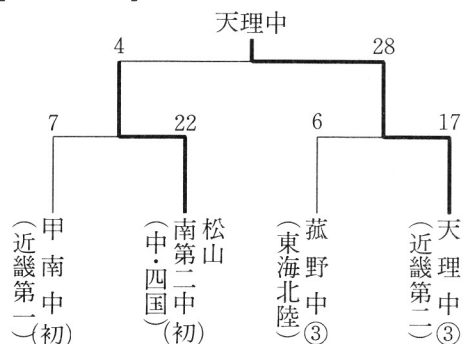
1回戦 2年1月5日 花園ラグビー場Ⅱ

南第二中 $22\left(\frac{10-7}{12-0}\right)$ 7 甲南中

甲南中がキックオフのボールを南第二中陣深くに蹴り込み、F Bがもたつきキャリバックとなる。その5mスクラムより甲南中No.8が左サイドを突き右中間にトライ。8分にも甲南中が相手ゴール前まで攻め、ラックのオフサイドよりペナルティーゴールを狙い成功(南第二中0-7甲南中)。しかし南第二中もようやく立ち直り、19分南第二中、相手ゴール前のスクラムよりS O松田が相手をずらし、CTB大野にパスして大野が右中間にトライ(6-7)。24分にも相手ラインアウトのボールを取って右オープンに回し、最後はフォローに行ったS O松田が右中間にトライして10-7と逆転した。

後半5分、前半の逆転に勢いを得た南第二中が、甲南中22m付近まで攻めて反則をさそい、ペナルティから左オープンに回してWTB鶴田が左中間にトライ、ゴールも成功して16-7。20分には自陣22m付近のラインアウトより左オープンに回し、またもや鶴田が60m独走して中央にトライ、ゴールも成って22-7。花園で一勝をあげた。

【Bブロック】



前半の中ごろからタックルも決まり、南第二中の展開ラグビーができての勝利だけに大きい意義があった。

決勝戦 1月7日 花園ラグビー場Ⅰ

南第二中 $4\left(\frac{4-10}{0-18}\right)$ 28 天理中

前半2分、天理中のパスミス南第二中FWが拾い、早いテンポでCTB大野からWTB鶴田にボールが渡り、60m独走して左隅にトライ、(4-0)しかし5分、天理中は相手10m付近のスクラムより左サイドを突き、F Bがライン参加して中央にトライ。4-6と天理中に逆転された。8

県代表となり
関西大会で
準優勝した
南第二中
メンバー



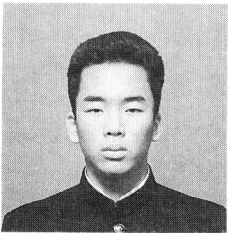
分にも天理中は中央付近ラックより出たボールを左に回してWTBがトライ、4-10で折り返した。

後半8分、天理中は相手ゴール前のラックより左オープンに回しFBがライン参加してトライ(4-16)。さらに天理中は17分、スクラムよりNo.8が右サイドをもぐってトライ(4-22)、20分にも南第二中のキックをFBがとり、ステップで相手をおかわして中央にトライ。4-28で天理中が優勝をかちとった。

ゲーム開始早々にトライをしたので、何とかいけるかと思ったが、天理中選手の集散が早く、タックルも確実に南第二中の展開ラグビーに持ち込めなかったが、天理中に対する健闘も素晴らしかった。

もう一度`花園、を目指してみたい

南第二中 主将 松田 国明



僕達29名は、他の部で活躍していた選手や、ラグビーに興味を持った者が集まって結成されたチームである。県大会から全員が一丸となって勝ちとった花園。`花園、で

僕達の力が通用するかどうか心配と不安にかられていた。

第一試合の甲南中との試合で不安が的中した。試合開始のキックオフをゴール前まで蹴られ、その処理にもたつきキャリバックになる。5mスクラムでNo.8にもぐられそのままトライをされた。この時、みんなの足は全然動いていなかった。その後も中盤までは、ボールに手が着かなかった。そんな不安を吹きとばしたのは、猛烈で確実なタックルと、みんなが一つになり最後まであきらめなかったことに尽きると思う。そしてこの一回戦の勝利は、僕達にとって記念すべきものとなった。

次の日、試合の疲れも忘れ、大阪の市内見物を楽しんだ。この時の楽しさが次の決勝戦である天理中との試合への励みになったような気がした。

決勝の当日、みんな信じられないくらい気合が入っていた。とうとう瞳れの`花園第一ラグビー場、での試合を迎えた。

10時、レフリーのホイッスルで試合開始。みんな燃えていた。自陣から左オープンに回し、鶴田君が60m独走して左隅にトライした時は、いける!と思った。しかし、同点に追いつかれ、逆転そして点差がまたたく間に開き、試合終了。みんな泣いた。優勝を狙って天理を倒すつもりが、逆にやられてしまった悔しさ、その思いをかくし切れず、目から涙があふれた。

しかし、僕達は勝ち負けに関係なく、いろいろなことを学んだ。負けた時の悔しさ、勝った時の喜び、涙の中からもろんな思いが浮かんでくるようだった。僕達はこの思いを胸に、これから的高校生活や社会へ出てからも花園で学んだこと、経験したことを生かして頑張りたい。そして、できることならもう一度`花園、を目指してみたいと思っている。

頼もしい子供達

鈴木 絹子



愛媛県大会に勝ち抜いて、関西大会に出場する子供達と花園ラグビー場に着いたのは、午前10時頃でした。

今日の日のために、お正月もなく練習してきた子供達にとっては、感きわまるものがあったことと思います。そのせいかどうか、試合開始後は個々の動きに固さが見られ、ハラハラする場面もありました。持前の明るさとチームワークの良さでピンチを乗り切り、第一回戦を勝つことができました。試合後の子供達の喜々とした顔には大粒の汗が印象的でした。

決勝戦では天理中学に敗れましたが、名門の名に憶することなく、一生懸命プレーした子供達に悔いはなかったと信じています。閉会式では、堂々と南第二中の生徒として、準優勝の盾とメダルを頂き、一人ひとりの顔にはさわやかな生駒の風

が吹いていました。

たった半年足らずの日々で、ここまで来れたのも、先生の情熱と子供達のパワーの一体化ではなかったかと思います。『成せば成る』の精神は、

今後のこの子供達の将来にきっと役に立つことでしょう。花園ラグビー場の広さと、総勢29名の子供達の心は同じくらい広いものがあつたような気がして、親として本当に嬉しく思います。

天理高ラグビーの真髄に触れる 平成元年度指導者講習会

3月10、11日の二日間、協会は県教委と共催で、県下の中学・高校の指導者を主対象に指導講習会を開催した。今回は正月の全国高校大会で6度目の全国制覇を成し遂げた関西の名門、天理高の後藤典郎部長と田中克己監督をお招きした。

両講師のお話しの中で随所に『やはり天理高だなあ』と感ずることが数多くあつた。詳細は次号に載せることとして一部を紹介する。

——現在部員は約50名程度。今大会で勝ち上るにつれてケガ人が続出し、止むなく2年生主力の編成で対戦した。よく天理高は層が厚いといわれるがそうではない。1年生の時からいろいろなポジションを練習させてきた成果が、出場したいという選手の意欲と相まって期待どおりに活躍してくれたのである。

——主要な練習方法A・B・Cを設定し、それぞれ何を狙っているかをよく説明し、ここはこうする、ここはこうだと約束ごとを決めておく。相当な運動量である。もし約束を破ることがあれば、主将を中心に選手達同志で検討させて、守らせるか変更するかを判断する。高校生は素晴らしいものを持っており、むしろ教えられることが多々あるので、決して教え込むようなことはしない。つまり、選手個々の自主性を育て、それをリーダーがまとめるということを普段から心がけていることが、大事な試合のここ一番の時にプラスαの力が出るのだろう。

——天理高は身体が小さいのでディフェンスを重視し、反転してカウンターに出る戦法をとっている。そのために、常に全員がボールの位置をキッチリと見きわめ、ボールに最も近い者は外側に、順次内側にとボールに集る動きとボール処理を、



(講議中の後藤部長。その左は田中監督)

実戦に則して徹底的に練習させている。

●テレビ観戦していて、どんな場面でもつねに白いユニホームが一步早く、ボールに集っていたシーンがいまも脳に焼きついている。

——OBがコーチにくると普段やっていることと異なる指導をされて、選手達が困ることがある。これには選手個々にどちらがよいのかを考えさせ、判断させている。その上で分らないことは聞きにくるようにと指導している。みんなそれぞれに正しい指導をされているのだから。

——今大会で対花園戦は同点、トライ数も同じで抽せんとなった。天理高主将が先にクジを引いたが何の反応も示さない。負けだと思った。その直後に引いた花園高主将がガックリとうなだれた。後で知ったのだが、うちの主将はクジを見て誰にも分らないように、片方のコブシをギュッと握つたとのこと。彼の相手に対する思いやりの深さ、スポーツマンシップがにじみ出たシーンだった。別にそのようなことは教えはしなかったのだが。

●勝利の喜びは誰しもその瞬間に、全身で表現したいものである。しかし、負けた相手の心痛を察する奥ゆかしさ、心のゆとりがほしいものだ。



シオノギ製薬
大阪市中央区道修町3-1-8 〒541

'89・10B51

パイロンAM錠は
早くのむほど早く効きます。

くしゃみ・鼻水・鼻づまり・のど痛・頭痛・悪寒・熱・咳……
いますぐパイロンAM錠をのんで、早くお休みください。
(かぜ諸症状の緩和)

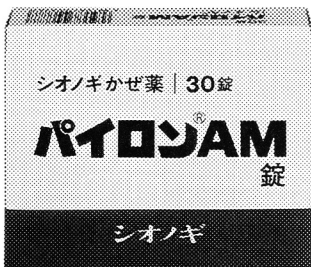
早く溶ける錠剤です。

のみやすい小さな錠剤で
家族でのめる常備薬です。

成人(15才以上)1回3錠、11~14才1回2錠、5~10才1回1錠、
いずれも1日3回食後におのみください。

携帯に便利な包装です。

いま
すぐ
パイロン



他にパイロンAカプセル・幼児用パイロンAM顆粒が
あります。®: 登録商標



かぜ

これらの医薬品は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使い下さい。

浅野ゆい子

第1回四国ラグビースクール大会

助け合い勇気ある少年ラガーの育成

平成元年9月17日、高松市の香川県営サッカー・ラグビー場に、四国4県から7スクール、少年ラガー277人と多数の父母が集い、ラグビーシーズンの幕開けにふさわしい第1回のスクール大会が開催された。本県からは松山と北条のラグビースクールから69名の少年達が参加した。

この大会は、高松、丸亀、北条、松山、高知、嶺北、徳島の7スクールが主催し、高松ラグビー少年団が主管して挙行されたもの。井上大会長（香川県協会スクール委員長）が——この大会が年を重ねる度に更に盛大に、多くのラグビー仲間を育てながら、ラグビーのもつ素晴らしさを身につけ、日常生活でも友達と仲良く助け合い、勇気ある少年育成の場であることを願う。——とあいさつされたように、ラグビーの底辺拡大、ひいては

四国四県のラグビーレベルのアップにつながることを大いに期待したい。

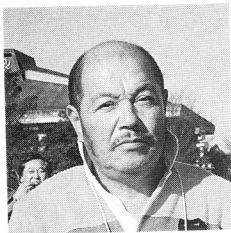
ゲームの結果は、次のように北条スクールの少年達の健闘が光った。当日観戦応援した父母の皆さんを代表して感想を寄せて頂いた。

〔成績〕

A チーム 5・6年	北条16—0 高知
徳島8—4 松山	丸亀16—4 松山
高松60—0 松山	高松20—12 松山
北条56—0 嶺北	
北条16—4 丸亀	
B チーム 3・4年	C チーム 1・2年
北条28—0 徳島	北条24—0 丸亀
	高知12—8 北条

笛の大切さ

北条スクール校長 池本享啓



「先生、今年の夏休みは皆んなよく練習したと思いませんか。」「そうだなあ、良く頑張ったと思うよ!」と答えたが、この一言がのちに後悔するはめとなるのである。第1回四国ラグビースクール大会の前日に出発して、一泊したいと子供達が言い出したのである。

私もいろいろ思案し、父母の会にも相談した結果、高学年のみ前日に出発し、低学年は当日に出発ということで父母の賛同を得ることができた。子供達の意気込みはそれほど強く、この大会を目指して子供達なりに、夏の暑さにもめげず頑張っていたのである。また、父母の側も多数の参加が得られ、試合にのぞんだ。

私も子供達からルールについて聞かれたり、レフリングを問われたりで、指導者として大いに反省させられ、勉強もさせられたものである。特に子供だからといって、いいかげんな気持ちで物ごとを処理したり、教えたりしないで、将来性のある子供だからこそ、真剣に話し合い、理解させね

当日は快晴で、開会式後には多くの応援にも恵まれ、子供達は元気一杯。早くも他県チームと友達になり、話し合う子供もみられ、大会に参加してよかったと痛感した。

いよいよ試合開始。Aチーム、Bチーム、Cチームともに前もって抽選をしていたので、ゲームは順調に消化できた。しかし、第1回大会ということで、今後の課題も幾つかあったと思う。

我が北条チームはA、B、Cチームともに、父兄と指導者が一体で行ったナイター練習の成果が実り、好成績で帰路についた。帰りの車中では、疲れているから少し寝るようにと注意したが、私のそんな言葉は無視され、高松から北条に着くまでゲームの話でもち切りだった。

私も子供達からルールについて聞かれたり、レフリングを問われたりで、指導者として大いに反省させられ、勉強もさせられたものである。特に子供だからといって、いいかげんな気持ちで物ごとを処理したり、教えたりしないで、将来性のある子供だからこそ、真剣に話し合い、理解させね

ばならないと思った。

ゲームの時、また練習のとき、笛一つ吹くにしても不安を感じたり安心したりする子供達だから、一つの笛で適切な判断ができるように、今後は指導して行きたいと思っている。

こんないいラグビー場 松山にも欲しいわね

松山少年スクール

父母会 田中 節子



高速道路がついたおかげで、高松まで本当に近くなりました。3時間というのは、子供達がバスではしゃぎながら行く距離としては、丁度いいのかも知れません。

好天に恵まれた香川県営ラグビー場は、芝生が生え揃ったとてもきれいな所でした。毎週日曜日に練習している堀之内のラグビー場と比べると、月とスッポン。ある人の話しによると、本場のイギリスやオーストラリア、ニュージーランド等のラグビー場は、この程度の芝生が当たり前ということだそうですね。

これだけ芝生がきれいに揃っていたら、スリ傷などケガの心配もなく、子供達もノビノビ走り廻ることができるだろうと思わずにはいられませんでした。(松山ではそれができないのでしょうか?)

参加したチームは7チーム。高松、丸亀、北条高知、嶺北、徳島と我が松山でした。このうちBチームは1回戦、相撲部の子供かと思われるような高松チームとの対戦でした。走力や展開は松山がリードしていたのに、残念ながら体力負けで逆転されてしまいました。

レベルは違いますが、明治と早稲田のゲームみたいでした。2試合目は高知チームとでしたが、こちらも善戦空しく敗れてしまいました。

高校レベルでは愛媛は他の3県と比べると群を抜いているんだそうですが、こんないいラグビー場があってチビっ子が頑張っているんだから、い

つか愛媛は抜かれてしまうのではないかとまで考えてしまいました。

私は8ミリビデオで撮影しながらの応援だったのですが、後で見直してみるとボールを上手に追えていない所ばかりでした。

遅まきながら、もう少し私もラグビーを勉強して、ボールの動く方向の予測くらいはできるようになりたいものと反省しています。第2回大会では撮影も頑張りますので、少年ラガーの皆さんもがんばってください。

勇気凜凜の子供達

北条ラグビースクール

父母会 天野 富子



「お母さん修学旅行みたいだね」と言って6年生の息子は、喜び勇んで高松へ旅立ちました。高学年の子供達は、遠征試合で一泊できるのでワクワクです。

2年生の息子は、翌朝早く出発することになっているので、うらやましそうです。私達父母会の人達も当日の参加でした。

早朝、北条を出発しました。長いバスの旅でしたが、みんな元気一杯です。グラウンドに着くと一面の芝の緑でした。子供達は「やるぞ!」という顔をしています。親としてとても頼もしく思いました。そして、北条にラグビースクールができてからのことが、いろいろと思い出されて感慨無量でした。

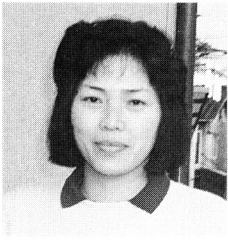
今まで幾度も試合を観戦しましたが、今日は今までと違い、自信のある顔で勇気凜凜という感じでした。このような子供達になるまでに指導してくださった先生方、いつもお世話くださっている父母会の方々に感謝の気持ちで一杯になりました。

ラグビーを通して、心身を鍛え伸び伸びと成長してほしいものと願っています。そして四国4県の交流の中で、もっともっとラグビーの輪が広がっていくことを希望しています。

ラグビーの魅力に取りつかれそう

北条ラグビースクール

父母会 矢木千鶴



私共の兄弟は、兄が4月にサッカー部に入ったのと、友達がラグビーをしていたのがきっかけで、小2の次男は6月にラグビースクールに入りました。丁度9月に試合があるということで、夏休みも頑張って練習に行きました。親が見ているとハラハラの日々でした。

いよいよ試合の当日、いつもは夜半に起きない子なのに興奮していたのでしょうか、何回も起き

てきては、「まだ5時じゃないん？」の繰り返しでした。6時出発のバスに乗っての高松行き、子供ははしゃぎ回っていました。

開会式が始まり、いよいよ試合開始。相手は高知でした。はじめての試合とあって、さすがに緊張している様子。前半は上級生の後ろを走るのが精一杯の有様でした。後半になると少し馴れたのか、チョロチョロ動くようになり、ボールを取れるようになりました。終ってみると1回戦、2回戦とも圧倒的な勝利2-0。「ヤッター！」さすが子供がVサイン。

「お母さんボール取れたよ」、「やったよ」としっかり喜んでいました。親子ともども、ラグビーの魅力に取りつかれそうです。

ボールをしっかりと抱いて、バインドも固く突き進む北条少年ラグビー達



第1回関西協会クラブチーム大会

三島クラブ 強剛チームの胸を借りる

平成元年9月30日と10月1日の2日間、岡山県英田郡美作町の美作ラグビー・サッカウ場に、関西協会加盟の16チームが参加して第1回大会が開催された。本県からは三島クラブが出場。上位4チーム(岡山A、兵庫、愛知、京都A)に次ぐランクのプレートトーナメントに組み入れられ、1回戦で優勝チームとなった千里馬クラブ(大阪A)と対戦した。

千里馬は、安定したスクラムから積極的にBKにボールを回し、BKが走り勝ってトライを重ねた。三島は、FWがやや軽量ながらもNo.8を中心に、前に前にと出る素晴らしいアタックを見せたが、1トライ、1ゴールに終り、6-34で敗れた。3位決定戦では岡山Bの津山と対戦。前半先制してリードしたが、後半になって疲れが見えはじめ、逆転敗退した。(大会戦評より)

三島としては、このような大会で県外の強豪と対戦したことにより、自チームの長所短所が分かり、今後のレベルアップに対処する手がかりをつかんだことと思う。来シーズンに期待したい。

記念すべき第1回大会に出場した三島を代表して、板坂選手から次の手記を寄せて頂いた。

紳士のチームと対戦、さわやかさを感じ

三島クラブロック 板坂 修一

早朝、5台の車に分乗して三島を出発。瀬戸大橋を經由して岡山県美作町のラグビー場に降り立った私達の目の前に、緑色のじゅうたんを敷きつけたような芝のグラウンドが広がっていた。抜けるような晴天も手伝って、その鮮やかさにしばし無言で見入っていた。

ふと我に返り、一息つく間もなくジャージーに着替え、アップを始める。4つのトーナメントのうち、プレートトーナメントに臨み、初戦の相手は大阪でも強剛と恐れられている千里馬クラブである。チームの面々にも緊張感がみなぎり、試合前のいい顔になってきた。

キックオフのボールが秋空に汲い込まれると、感情もピークに達した。しかし、変だ！ 5分後に先制トライを許してしまい、まったく三島のペースがつかめない。千里馬は在日韓国人チームであり、韓国語でサインを出している。相手の感情がつかめない。浮足だってしまった。前半、やっとの思いで1トライを取り返したが、後半は千



プレートトーナメントに善戦した三島クラブ

里馬の良い面だけが目立った試合となった。

2日目は、地元岡山の津山クラブと3位を懸けての対戦である。県代表としてここで敗ける訳にはいかない。昨日の疲れなど全く感じさせない、並々ならぬ気の入れようであった。前半は1トライを奪いリードしてハーフタイム。いけるぞ！しかし、後半徐々に遠征の疲れが見え始め、2本3本とトライを許してしまった。

今回の大会では、2試合とも敗れてしまい非常に残念であったが、対戦した両チームとも紳士的で、試合後には心持よい秋風のようなさわやかさを感じた。

湯之郷ホテルでは酒も入り、試合について、またラグビーについて夜を徹して語り合い、クラブ内の親睦をより深めることができ、大きい収穫であった。このような、記念すべき第1回大会に参

加する機会を与えてくださった協会の方々に、部員一同深く感謝している。

プレートーナメント

(岡山B) 津山クラブ	0	千里馬クラブ
(広島) 福山クラブ	23	
(愛媛) 三島クラブ	6	
(大阪A) 千里馬クラブ	34	

カップトーナメント

優勝 六甲クラブ (兵庫)

ボールドーナメント (A)

優勝 長門クラブ (山口)

ボールドーナメント (B)

優勝 米子クラブ (鳥取)

新田高 松本 昌丈君

8人目の高校日本代表に選ばれる

身長 186cm、体重95キロの巨漢、新田高3年ロックの松本君(松前町出身)が、昨夏の代表候補の合宿や国体、全国大会でのプレーが高く評価されて、晴れの代表に選ばれた。3月中旬から約20日間、近代ラグビー発祥の英国・スコットランドに遠征する。——全国大会での作新学園戦では、ラインアウトでボールが奪えず、自分では満足できない不本意なプレーだったので、まさか選ばれるとは思わなかった。最高にうれしい。将来のために学べることは何でも身につけて帰りたい——と意欲満々。福沢監督も「巨体を生かし、ラインアウト、スクラムなどの基本プレーがしっかりしている。密集への参加姿勢も積極的」と愛弟子に大きい期待を寄せている。法政大へ進学が決定。

[53年度] イングランド遠征

村上 啓也 S H B。新田一日体大一米子東高 教員、部長

[55年度] 豪洲遠征

河野 利晴 フッカー、新田一名城大日本鋼管
亀岡 政幸 S H B。新田一筑波大一新田高教

員、コーチ

○山本 巖 (新田一早大一リコー、現サントリー監督) がコーチとして指導

[56年度] イングランド遠征

栗原 誠治 (2年) ロック。新田一早大一サントリー。

渡部 監祥 S O。新田一帝京大一東芝府中

○山本 巖 (前出) 56~58年度の監督となる。

[57年度] カナダ遠征

栗原 誠治 (3年) ロック。前出。

○61年早大4年のときイングランド・スコットランド遠征日本代表、62年度第1回ワールドカップ日本代表として活躍。キャップ3。

[59年度] ウェールズ遠征

須之内浩司 プロップ。松山聖陵一明大一三菱自工水島。

[63年度] ニュージーランド遠征

藤田 信之 W T B。新田一三洋電気 (一部愛媛新聞より引用)

思惑ク会長 大西五郎氏 社会体育指導員全国表彰の栄誉 ラグビー精神で地域スポーツを指導

平成元年10月4日、愛媛思惑クラブ会長の大西五郎氏が、社会体育指導員として地域スポーツ振興に寄与された業績が認められ、全国表彰を受けられた。ラグビー一筋の大西さんの受彰は、我々ラグーマンとしてもまことに喜ばしいことであり、10月22日、南海放送本町会館に有志多数がつどい祝賀会が催された。

大西さんは昭和10年に松山中学のラグビー部に入られ、同13年法政大学に進みCTBとして関東大学Aリーグで活躍、在学中に2度も主将の重責を果たされた。その後、就職先の秋田市で全国に名をとどろかせていた全秋田のSOとして、また昭和23年帰省後は松山クラブに復帰して後輩の指導に当たるとともに、同25年の名古屋国体（本県初の出場で四国代表）には全愛媛のCTBとして、古巣の全秋田と対戦しノーサイド直前に逆転惜敗した。プレーヤーであると同時にコーチとしても愛媛師範を全国大会に出場させ、またのちに全日本級となった多くの優秀選手の高校時代を指導された。黄パンツの今も走り、県下各地から招かれて指導されており、愛媛ラグビーの発展に尽くされた功績は枚挙にいとまない大先輩である。

祝賀会は母校法大OBの皆さんによる部歌の合唱の中、大西ご夫妻が入場。発起人代表の足立、二神、森三氏から祝辞が述べられた。——手抜きが出来ない男、実直誠実の人。人間の欲得、利害得失を超越。縁の下の力持的存在で、永年、指導員としての職務を忠実に全うされてきた。これぞラグビーの真骨頂だ——と足立さん。——五郎様ではピンとこない、五郎さんでこらえてや。五郎さんからラグビーを取るとゼロだ。ラグビーで教わったことは、スポーツ精神、きれいな心だ。五郎さんほどスポーツを真に心の友とした人はいない。愛媛にこんな人が続いて出ないといかん——と大西さんの先輩



の二神さんのスピーチ。

出身地の松前町議会議長の音頭で乾杯。森世話人、細田会長、土居前会長、島崎法大監督、松前町長など多くの方から賛辞が贈られた。

大西さんから、スポーツを通じて全国に沢山の友達ができたことが大変嬉しい、と謝辞が述べられたが、祝賀会参加者も全国のラグビーであったことは云うまでもない。

大西さんのラグビーとは何か、その一端を次のように述べておられる。

気力と意欲を駆使して

思惑クラブ 大西五郎

あれからもう45年にもなる。ソ満国境の烏蘇里江（ウスリーコオ）に沿った通貨鎮（ツウカチン）から虎頭（コトウ）を経て、延吉（エンキツ）の予備士官学校に入隊する時、可愛がってもらった原隊の教官から「何に冀、と書いた白いハンカチに、花を添えてお饞別に頂いた。今もおそのハンカチを大切に持っている。



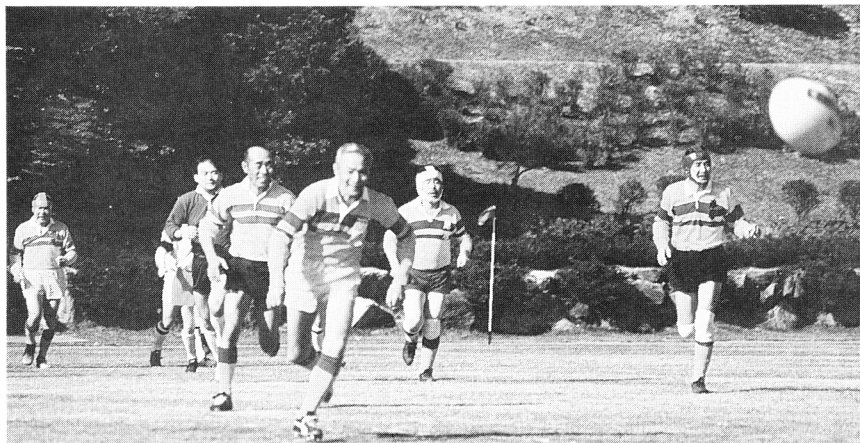
極寒の満洲、そして猛訓練。戦況はとみに悪化し、予備士官出の将校は消耗品とまで言われた時代だったし、生きて帰れるとも思っていなかった。幸い本土防衛のため高知に帰って終戦を迎えることができたお陰で今日に至っている。何に糞!!とたった三文字ではあるが、この当時の私をどれだけ勇気づけてくれたことか。

もし、これを大阪人気質にあてはめてみたら、^レ何に糞!! やったるで、ということになるのだろうが、格闘競技であるラグビーでは殊のほか必要な精神要素であり、これに^レわしについてこい、ぐらいの意欲があれば申し分ないのだが、今の愛媛人の中には余りお目にかかれぬ、と思われるがどうだろうか。これぐらいのファイトを燃して戦って欲しいものである。

ラグビーでは飯は食えんが、ラグビー精神では飯が食える、とよく戦前のラグーは教えこまれたものだ。私もその一人である。ラグビー精神が如何に大切なものであるかをしっかりとご指導いただいたお陰で、今日の自分があるのだとラグビーの恩師、先輩方に心から感謝している。

ラグビーを始めて53年、私はラグビーを選んだことに誇りと感謝の気持で一杯である。元年10月4日、社会体育の部門ではあるが全国表彰を受け沢山のラグーから祝福して頂いたのも、心身ともにラグビーで鍛えて頂いたお陰だと思っている。

愛媛の次代を担うラグーが、ラグビーの正しいマナーを通して素晴らしい社会人に成長してくれることを願って止まない。



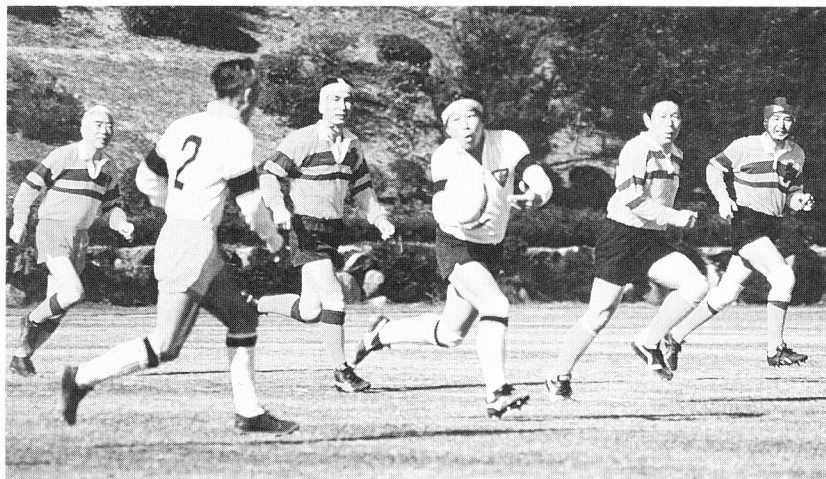
H.1. 11.26

思惑ク 対

大工大高OB戦

◀大西さん、ナイスキャッチできるかな?

大工大高OBバックの果敢なアタック ▶



協会だより

正念場 福岡国体へ向けて 指導強化体制を改組

昭和61年10月12日の山梨かいじ国体における愛媛県勢の惨敗で、県体協では各競技種目団体に抜本的な強化対策を要請した。当協会でも競技力向上のため、国体選手強化に焦点をあてて同年12月13日の理事会で、「選手強化対策委員会」を設置した。しかし関係者各位の努力にもかかわらず、沖縄、京都、北海道と続いた国体において、京都で少年が頑張っただけで第3位になったほかは、残念ながら振わなかった。

ラグビーはこれまで特別強化の重点種目に指定されてきたが、これ以上の不振が続けば指定から除外され、強化対策補助も大幅に削減されて十分な強化策が取れなくなる。今年の福岡国体は、まさに断崖に立たされた正念場に追い詰められたというのが実情である。

去る1月20日の定例理事会では、このような危機感がみなぎり、細田会長から指導強化の基本的な考え方として——現行の強化体制は、組織が細分化し散漫になりがちであった。この点を反省し、簡素な組織にして関係者の連繫を密にし、勝つチームづくりを本音で話し合える組織に改めたい。具体的には「強化指導部会」と「管理事務局」の2つとし、構成員は別記の方々をお願いしたいと提案。

協議の結果全員が了承しスタートした。同部会では早急に対策方針を詰め、広く優秀な人材を選抜して強力なチーム編成と強化対策に乗り出すことになった。各チームの指導者の絶大な協力を願うとともに、選手諸君の一層の奮起に期待したい。

指導強化部会長：藪 福雄(副会長)

- 成年担当：中野 節夫(理事・書記長)
- 少年担当：山中健太郎(理事)

- 委員 成年：阿部 卓郎(理事レフリー委員長)
山崎 文明(理事クラブ委員長)
小池 秀信(理事大学委員長)
池田 博(レフリー委員)
伊賀上 竜也(日本体協公認コーチ)
渡部 英雄(北海道国体成年1部監督)
- 少年：渡部 正治(理事普及指導委員長)
福沢 敏夫(理事・コーチ委員長)
宇野 由男(理事・副書記長)
尾上 忠臣(理事・安全対策委員長)
烏谷 忠男(松山聖陵高部長)
河野 大助(松山城南高部長)

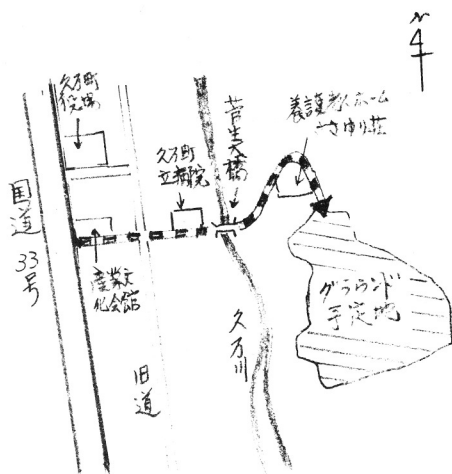
久万町のラグビー場建設 平成3年春完成に向けて始動

久万町では難航していたグラウンド用地の買収を終え、青写真もでき、いよいよ建設に取りかかることになった。町では5月頃全容を公表する予定で、グラウンド2面を確保し、来春の完成を目指している。協会としても、盛大なグラウンド開きとなるように有力チームを招致することをはじめ、夏の合宿に向けても万全の支援体制をとることにしている。関係各位の協力をお願いする。

町では、——ラグビー場建設に着眼した理由は、全国的にも菅平(長野県)、数河高原(岐阜県)、湯布院(大分県)にある位で少なく、久万町にラグビー場ができると中四国、関西などからチームが訪れ、町の活性化につながる。建設計画は「久万のアメニティゾーン整備計画」の一つであり、県や国の指定を受けているので、将来、グラウンドやテニスコート付きの民宿や、観光農園等が出来て民間活力が盛り上がることも期待している——と大きい夢実現の起爆剤にラグビー場を考えておられる。

「愛媛の久万で合宿しよう」と、全国の有力チームに言ってもらえるようにしたいものである。





思惑クラブ 20周年記念行事を企画

思惑クラブは、平成3年度で20周年を迎える。年々クラブ員が増加し、若手はもちろん熟年組においても、全国的に通用する実力が備わってきた。大阪、東京、福岡の三惑クラブをはじめ、関西、中四国の多くの惑クラブとの対戦を重ねてきた成果が実りつ、あるこの頃である。

このようなことから20周年の大きい節目に、記念すべき行事を企画することになったもので、昨年12月10日、県総合運動公園のパーラーダリアで、山内実行委員長が中心となって関係者が話し合った。

当日決定したのは、次の基本事項である。

- 惑々、不惑、迷惑の三惑をメインにしたい。
- 平成3年11月中旬までの土、日曜日の二日間。
- 県総合運動公園球技場で行う。
- 真の「赤・黄」チーム1つと「白・青」で2チームをつくる。
- カラー写真入りの思惑クラブ名鑑を作成する。



平成元年度愛媛県体育協会 スポーツ功労賞等の表彰

(財)愛媛県体育協会(伊賀貞雪会長)では、3月27日県庁第二別館大会議室において、スポーツ功労賞等の表彰式を行うが、ラグビー関係からは次の方々の受賞が決定した。心からお喜び申し上げます。

- スポーツ功労賞 大西五郎氏
- スポーツ優秀指導者賞 鳥谷忠男氏
- 優秀スポーツクラブ賞 スレッドクラブ

大西さんは思惑クラブ会長で、昨年10月4日、社会体育指導員として地域スポーツ振興に寄与された業績が認められて、全国表彰を受けられたことに続く二重の栄誉である。本誌の別項に大西さんのラグビー人生について掲載しているのでご覧ください。

鳥谷さんは、新田高一明治大学を卒業して昭和40年4月、松山聖陵高に奉職され、翌年同校にラグビー部を創部して監督になられた。

自らは高校時代に2度全国大会に出場し、明大時代には学生でありながらも、昭和38年4月のカナダ遠征日本代表のフランカーとして活躍されるなど、高度なラグビーを体得している実力派の指導者である。

監督としては、創部以来つねに少数部員に苦しみながらも、12年目の52年度、北四国代表として第57回全国高校大会に出場させる力量を発揮された。さらに昭和60年3月ウエールズ遠征高校日本代表のプロップ須之内浩二選手を、また関西大学Aリーグの強豪同志社大の主将をつとめた横本吉史選手をはじめ、多くの優れた選手を育成されている。これらの功績が認められての表彰である。

スレッドクラブは、昭和30年代に全国社会人大会で活躍した帝人松山を前身にもつチームで、現在も帝人関係企業のラグーが主体である。

頑健な身体と健全な精神をもつ若者の育成をモットーに、現在Aリーグに属し武田会長、長岡監督、浪本主将らのリードのもとに県リーグ、県選手権大会などで中心的存在として活躍している。毎年国体の全愛媛代表に選手を送り込んでいる有力チームであり、3月18日の四国クラブ対抗戦に県代表として出場することになっているが、このような活動が認められての受賞である。

近県小学生ラグビー交流大会

ラグビーを通じて、小学生のときから友情、礼儀作法を身につけさせ、協力し助け合い、信頼し合う心を養い、健全な精神と身体の育成を目指すことを目的に、3月3～4日、平成元年度第1回

大会が開催された。

北条青少年スポーツセンターと当協会が主催し、県と北条市の教育委員会、県体協、県スポーツ少年団、愛媛新聞、南海放送の後援とロッテ商事㈱の協賛で、昨年9月の第1回四国ラグビースクール大会に匹敵する大きい大会であった。

3月3日は北条青少年スポーツセンタの体育館で、午後7時から交流会があり、4日は9時から同センターの球技場、サッカー場でミニラグビーを実施した。参加チームは次のとおりで、チーム編成は小学1・2年、3・4年、5・6年である。

- 北条少年ラグビースクール（愛媛）
- 松山少年ラグビースクール（愛媛）
- 高松ラグビー少年団（香川）
- 丸亀ラグビースポーツ少年団（香川）
- 高知少年ラグビースクール（高知）
- 嶺北少年ラグビースクール（高知）

編成ごとに各チームとも2試合し、それぞれ第1位のチームに細田協会長から「優秀賞」を贈り、他のチームには「敢闘賞」を授与して健闘をたたえた。松山少年スクールは3・4年、5・6年ともに第3位で頑張った。

○優秀賞

- 1・2年生 丸亀ラグビースポーツ少年団
- 3・4年生 北条少年ラグビースクール
- 5・6年生 高松ラグビー少年団

故 山崎祐蔵さんを偲んで 少年と同僚ラグーマンが追悼試合

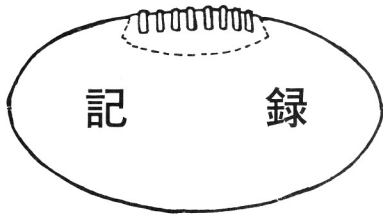
昨年12月10日、県総合運動公園補助グラウンドで、6月23日に永眠された故山崎祐蔵さんとゆかりのあるラグーマンが、ご遺族の前で追悼試合を行った。北条スクールの少年と、桑の実クラブの温かい友情によるもので、松山と北条の少年によるミニラグビーと、思惑クー桑の実クがそれぞれの思いを込めて戦った。

ゲームに先立ち、遺影に向かって松山少年スクールの吉本昌弘君（清水小6年）が代表して——山崎先生の教えをよく守り、立派なラグーマンになります——と力強い追悼の言葉を述べた。そして森スクール委員長、大西思惑会長、細田協会長、

足立顧問からも追悼文や供花がなされた。

草葉の陰で山崎君を囲み、多くの物故者達が観戦してくれていたことだろうと思う。





中出尚哉 | | 日野猛仁 石橋哲也 | | 熊本英嗣
 森 一生 F B 影浦一夫 藤本 薫 F B 影浦一夫

▽第69回全国高校ラグビー大会

東予地区予選

一回戦 10月8日 西条高

西 条14 ($\frac{10-0}{4-4}$) 4 新居浜東

代表決定戦 10月10日 西条高

三 島74 ($\frac{26-0}{48-0}$) 0 西 条

中予地区予選

一回戦 11月3日 堀之内県営

松山東9 ($\frac{6-0}{3-0}$) 0 松山西

愛 光30 ($\frac{12-0}{18-0}$) 0 松山北

代表決定戦 11月5日 堀之内県営

松山聖陵61 ($\frac{23-0}{38-0}$) 0 松 山 工

松 山 東9 ($\frac{3-0}{6-6}$) 6 松 山 商

北 条39 ($\frac{19-0}{20-0}$) 0 愛 光

南予地区予選

一回戦 10月29日 吉田町運動公園

野 村94 ($\frac{54-0}{40-0}$) 0 宇 和

八幡浜34 ($\frac{16-0}{18-0}$) 0 吉 田

県予選

一回戦 11月12日 八幡浜大洲運動公園

新 田 三 島 八幡浜 野 村

50 ($\frac{24-0}{26-0}$) 0 25 ($\frac{15-6}{10-4}$) 10

渡部慎司	FW	鈴木弘二	清家亮太	FW	稲葉 茂		
麻田晃司		神高申征	寺山宗慶		名本 林		
野間 光		高橋和孝	佐々木和伸		井上淳一		
井上忠裕		野村知臣	曾我明弘		田淵伸吾		
松本昌丈	TB	武村哲也	山下純司	HB	山本邦彦		
上月 慶		大西直樹	小笠原正人		上甲智則		
岡崎 正		石川剛士	林 雅樹		伊井祐二		
坂田正彰		大西敬明	二宮 豊		原井川義典		
河辺則彦	TB	続木義晴	磯崎正人	HB	三瀬道春		
田村昭雄		天野 純	本山 剛		大塚 隆		
大北裕治		石川賢吾	三神光二		神原直行		
西川明良		松木潤一郎	矢野幸徳		平 達也		
門田誠治	TB	伴野勝也	柳沢宅馬	TB	熊野栄司		
町田俊彦		赤瀬博士	堀田昌宏		渡辺 洋		
阿部剛三		F B	大西一弘		崎田英治	F B	原井川誠二

▽第44回国民体育大会 (北海道)

【少年の部】 江別市

一回戦 9月17日

埼玉選抜 愛媛選抜

14 ($\frac{8-0}{6-10}$) 10

塚越 孝	FW	渡部慎司
新井康司		坂田信幸
小林章典		野間 光
島田直樹		井上忠裕
門倉 豊		松本昌丈
島田 章		上月 晃
島田昌紀		岡崎 正
島津久志	HB	坂本直幹
葦塚由和		河辺則彦
大鷲紀幸	TB	田村昭雄
橋本謹嗣		大北裕治
江田憲仁	TB	西川明良
金子敏幸		門田誠治
久保田忠		町田俊彦
浜田朋洋	F B	田中昌博

【成年1部】 札幌市月寒屋外競技場

準々決勝 9月18日 5~7位決定戦

北海道選抜	愛媛選抜	(長崎)	愛媛選抜
19 ($\frac{7-0}{12-15}$) 15		三菱重工長崎	70 ($\frac{40-0}{30-3}$) 3
田中彦好	FW	立井則昭	熊本達也
山崎高德		熊本達也	尾崎幸治
久保田聡		池田智則	馬場 新
定好敏幸		大森啓士	福田哲也
村田剛彦		沢田靖治	後田貴光
下沼 潤		河本義文	内田賢二
菊池直哉		上田 尚	河野修一
鈴木 武	HB	渡部英雄	大久保哲也
阿部修士		亀岡政幸	分部和弘
中村 功		菊池恒仁	松尾真一
石川 誠		中矢博司	森下俊明
佐々木匡	TB	宮脇昭彦	松尾宏司
青木 栄		森 止	堀 清隆

松山聖陵	松山東	松山城南	北 条
58 $\left(\begin{smallmatrix} 18-0 \\ 40-6 \end{smallmatrix}\right)$	6	9 $\left(\begin{smallmatrix} 6-6 \\ 3-0 \end{smallmatrix}\right)$	6
玉井 求	木山公志	福岡良一	村上武尚
北野秀行	矢野正明	田中信幸	小川貴史
矢野智也	今井慶幸	富永 修	山本広昭
佐伯博和	草葉優二	菅原秀己	竹内慎也
広田 悟	大野真一	小島光善	鎌田卓司
森 泰範	竹田博司	木下敏満	東本和彦
近藤幸生	川吾浩樹	山内 亮	大西良樹
日浦真治	西上 修	坂本直幹	重見明孝
永江英樹	谷本剛志	中野信二	薦田直哉
嶋矢知輝	宮本礼人	前田博之	吉野 茂
戸井田義隆	内宮正浩	水谷清光	夏井大介
樋野武臣	谷口真広	福島義仁	広瀬光生
山西幸夫	柳原謙志	中矢晴紀	岸本善光
山本洋平	北 大蔵	山下洋太	岩城勝弘
水安純二	星野泰敬	佐田征二	篠原裕司

準決勝 11月19日 県総合運動公園

新 田	松山聖陵	松山城南	八幡浜
36 $\left(\begin{smallmatrix} 10-10 \\ 26-0 \end{smallmatrix}\right)$	10	52 $\left(\begin{smallmatrix} 26-0 \\ 26-0 \end{smallmatrix}\right)$	0
渡部慎司	玉井 求	福岡良一	清家亮太
麻田晃司	北野秀行	田中信幸	寺山宗慶
野間 光	矢野智也	富永 修	佐々木和伸
井上忠裕	佐伯博和	根来裕治	曾我明弘
松本昌丈	近藤幸生	小島光善	山下純司
上月 慶	岡田敏孝	木下敏満	林 雅樹
井上昭生	森 泰範	山内 亮	小笠原正人
坂田正彰	日浦真治	坂本直幹	二宮 豊
河辺則彦	永江英樹	中野信二	磯崎正人
田村昭雄	嶋矢知輝	前田博之	柳沢宅馬
大北裕治	戸井田義隆	向 純二	矢野幸徳
西川明良	樋野武臣	福島義晴	本山 剛
本家啄也	山西幸夫	水谷清光	高月義博
町田俊彦	山本洋平	川本 聡	堀田昌宏
阿部剛三	水安純二	中矢晴紀	上田伴都

決 勝 11月23日 県総合運動公園

新 田	松山城南
24 $\left(\begin{smallmatrix} 4-0 \\ 20-6 \end{smallmatrix}\right)$	6
渡部慎司	福岡良一
麻田晃司	田中信幸
野間 光	富永 修
井上忠裕	菅原秀己
松本昌丈	小島光善
上月 慶	木下敏満
岡崎 正	山内 亮
坂田正彰	坂本直幹

河辺則彦	H B	中野信二
田村昭雄		前田博之
大北裕治	T B	水谷清光
西川明良		福島義晴
門田誠治		中矢晴紀
町田俊彦		山下洋太
田中昌博	F B	潮多純也

※新田が11年連続30度目の全国大会に出場

全国大会

一回戦 12月28日 花園ラグビー場第1グラウンド

(栃木)	(愛媛)
作新学院	新 田
14 $\left(\begin{smallmatrix} 0-0 \\ 14-0 \end{smallmatrix}\right)$	0
江連 齊	渡部慎司
柳 雅章	麻田晃司
大谷津和典	野間 光
嶋原信之	井上忠裕
菱沼伸夫	松本昌丈
伊藤 宏	上月 慶
小山容平	岡崎 正
高木利幸	坂田正彰
益子芳己	河辺則彦
吉田光弘	阿部剛三
尾花兼司	大北裕治
栗田哲也	西川明良
土橋輝久	門田誠治
山中康裕	町田俊彦
外塚 渉	F B 田村昭雄

▽第40回全国大学地区対抗ラグビー大会

県予選

決 勝 11月3日

松山大学	愛媛大学
28 $\left(\begin{smallmatrix} 4-0 \\ 24-4 \end{smallmatrix}\right)$	4
小野哲也	藤井照久
力久裕一郎	為広哲也
田村健児	内田寿彦
安藤正明	田窪直樹
兵頭政信	竹本英貴
中嶋泰彦	坪井英樹
木原 均	守口修三
南方和生	藤本孝広
豊田邦治	H B 山本 潤
神高正英	木下裕司
渡部 讓	T B 天川英樹
横本和久	渡部典生
橋本和明	高瀬研二
久保誠治	秋田勇治
青野雅則	F B 正 鑄真一

四国地区予選

一次予選 11月12日

松山大グラウンド

松山大学 徳島大学

69 $\left(\begin{smallmatrix} 31-0 \\ 38-4 \end{smallmatrix}\right)$ 4

小野	FW	吉岡
力久		高島
田村		河田
安藤		平木
井澤		新井
福原		相良
木原		北島
南方		中尾
豊田		尾崎
神高		竹中
渡部	TB	宇坂
横本		馬淵
橋本	FB	矢野
久保		前田
青野		高橋

決勝 11月19日

松山大学 高知大学

13 $\left(\begin{smallmatrix} 7-0 \\ 6-0 \end{smallmatrix}\right)$ 0

小野	FW	平田
力久		迎
田村		鎌田
杉野		伊藤
兵頭		利光
井澤		正好
福原		高木
南方		森
豊田		安藤
神高		種子永
渡部	HB	木村 ^(注)
横本		高橋
橋本	FB	田上
久保		志方
青野		木村 ^(副)

小野(松山西)

力久(関西)	FW	地代所(八戸南)	
田村(大嶺)		八塚(新田)	
安藤(大分商)		中西(川越工)	
兵頭(野村)		高橋(岡津)	
中嶋(松永)		江郷(保善)	
木原(三島)		遠藤(富士河口湖)	
南方(北条)		中野(相模台工)	
豊田(大分舞鶴)		HB	西森(門真南)
神高(三島)			小杉(目黒)
渡部(北条)		TB	赤塚(鈴鹿)
横本(北条)	飯野(山梨学院大附)		
橋本(新田)	FB	住友(吉田)	
久保(松山西)		佐藤(拓大紅陵)	
青野(松山西)		奥田(中標津)	

※トライ数で山梨学院大に出場権

▽第20回全国高専ラグビー大会

四国地区予選

一回戦 11月25日 弓削商船グラウンド

阿南工専 弓削商船 新居浜工専 高松工専

39 $\left(\begin{smallmatrix} 29-0 \\ 10-0 \end{smallmatrix}\right)$ 0 28 $\left(\begin{smallmatrix} 12-0 \\ 16-0 \end{smallmatrix}\right)$ 0

井内康文	FW	田頭公望	玉井 毅	FW	中川貴樹		
秋月 薫		古門哲安	鴻上慎次		高岸雄一		
佐藤弘幸		神原 哲	渡辺誠之		田中計秀		
富永浩文		吉浦一人	松口 猛		納田京介		
北西剛史		岩倉裕司	村上弘志		岡内直也		
世直恵輔		柴崎 和	森 洋		岩村文彦		
森 敏史		見生誠治	大場 信		佐野孝行		
岡田 聡		林 克也	田中裕治		祇園 実		
尾田好武		HB	桧垣泰助		得能通泰	HB	松長彰三
木村有宏			千葉健也		守田伊俊		細川裕之
戎井英男	TB	菊池慎二	西原規敏	TB	林田昌三		
千葉 学		広庭康貴	荻山和也		阪川賢浩		
喜井克浩		神原浩彰	吉田敏彦		島田博司		
藤川暢彦	FB	橋 毅	岡田 武	FB	根本利満		
檜葉次郎		楠本浩章	浅海博通		森岡 誠		

決勝 11月26日 弓削商船グラウンド

新居浜工専 阿南工専

12 $\left(\begin{smallmatrix} 6-0 \\ 6-8 \end{smallmatrix}\right)$ 8

玉井 毅	FW	井内康文
鴻上慎次		秋月 薫
渡辺誠之		佐藤弘幸
松口 猛		宮原和幸

中四国地区予選

決勝 11月26日 県総合運動公園補助グラウンド

松山大学 広島大学

25 $\left(\begin{smallmatrix} 3-0 \\ 22-6 \end{smallmatrix}\right)$ 6

小野	FW	荒 金
力久		黒川
田村		尾添
安藤		宮永
兵頭		長岡
中嶋		日置
木原		古屋敷
南方		荒木
豊田		宮脇
神高		村松
渡部	TB	織田
横本		松山
橋本	FB	都賀
久保		若杉
青野		菅

全国大会

一回戦 1月2日 愛知・口論義運動公園

(中四国) (関東2区)

松山大学 山梨学院大学

21 $\left(\begin{smallmatrix} 12-7 \\ 9-14 \end{smallmatrix}\right)$ ②

村上弘志	FW	北西剛史
森 洋		富永浩史
大場 信	HB	森 敏史
田中祐治		岡田 聡
得能通泰	HB	尾田好武
守田伊俊		木村有宏
西原規敏	TB	戎井英男
荻山和也		千葉 学
吉田敏彦		喜井克浩
岡田 武		高井泰信
浅海博通	FB	檜葉次郎

下沖光浩	HB	得能通泰
松本 博		守田伊俊
濱屋福己	TB	西原規敏
貴島竜一		荻山和也
川野寿敏		吉田敏彦
阿部宗明	FB	山内孝男
戸島昌和		公文雅治
交代 (都) 田中→大工武志		

※今年度大会から四国代表が全国大会に出場できることになり、新居浜工専は3年ぶり2度目の全国大会出場。

全国大会

一回戦 1月3日 神戸市立高専グラウンド

(四国)	(北陸)
新居浜工専	富山商船
10 ($\frac{10-0}{0-4}$)	4
玉井 毅	丹治政弘
鴻上慎次	飛弾野修
渡辺誠之	磯口 肇
村上 剛	倉本修一
村上弘志	鷺平貴志
森 洋	本間大和
大場 信	野村庄司
田中祐治	中川和生
得能通泰	明瀬貴久
守田伊俊	中川光世志
西原規敏	鈴木文夫
荻山和也	中村治生
吉田敏彦	相場友紀
山内孝男	分田治人
公文雅治	佐藤敏仁

二回戦 1月4日 神戸総合陸上競技場

(前年優勝)	(四国)
都城工専	新居浜工専
54 ($\frac{22-0}{32-0}$)	0
河野 寛	玉井 毅
黒木和博	鴻上慎次
久永清和	渡辺誠之
黒澤光二	村上 剛
手塚直利	村上弘志
細山田光宏	森 洋
藤野健一	大場 信
田中健一	田中祐治

▽第10回関西中学生ラグビー大会

県予選

一回戦 11月12日 県営ラグビー場
南第二中 内宮中学
41 ($\frac{16-0}{25-0}$) 0

宮内雅浩	FW	向居伸也
栗田啓太郎		大西正剛
小松弘明		大内寿栄
石本土樹		西原裕嗣
山本 剛	FW	宇都宮拓
武田信吾		乙井孝友
渡部幸治		芳野貴昭
中津 誠	HB	渡部順也
杉野裕介		石岡 篤
松田悟志	TB	芳我武広
三好政人		藤本裕二
高岡 毅		芳野慎史
沖中俊一郎	FB	松田弘毅
大野英樹		川下 讓
松本耕典	FB	伊藤雅浩

準決勝 11月19日 県総合運動公園

南第二中 北条北中 城西中学 松山北中
44 ($\frac{12-0}{32-0}$) 0 14 ($\frac{0-0}{14-7}$) 0

川崎一成	FW	田村弘章	佐伯竜介	FW	加藤良平
中村太一		野中 勇	中川哲二		江戸 進
宮内雅浩		君原宣徳	松本美浩		渡部豊生
平野秀則		渡部誠也	亀井 秀		小笠原誠
三好信宏	FW	井手哲也	松下善一	FW	仙波伸治
武田信吾		田中大喜	和田誠司		中村昭彦
渡部幸治		山西良	山西照吉		中村照彦
中津 誠	HB	磯崎一幸	北野 浩	HB	中野正史
鈴木拓也		北村俊之	花井 拓		岡本泰幸
松田悟志	TB	重見 純	黒田正晃	TB	田口太樹
鶴田 一		田中伸幸	宍本雅和		大西英樹
大野英樹		重松健作	白石拓也		篠原幸二
沖中俊一郎	FB	山浦方裕	岩本直也	FB	池内成光
清水隆司		村上隆元	村瀬陽一		木下 勝
松本耕典	FB	渡部靖雄	西原大輔	FB	山川 弘

決勝 11月23日 県総合運動公園
南第二中 城西中学
46 $\left(\begin{smallmatrix} 14-3 \\ 32-0 \end{smallmatrix}\right)$ 3

宮内雅浩	FW	佐伯竜介	FW
栗田啓太郎		中川哲二	
小松弘明		松本美浩	
石本土樹		亀井 秀	
土居英治		松下善一	
武田信吾		和田誠司	
渡部幸治		山西照吉	
中津 誠	HB	北野 浩	HB
松田国明		花井 拓	
松田悟志	TB	黒田正晃	TB
鶴田 一		岩本雅和	
高岡 毅		白石拓也	
沖中俊一郎		岩本直也	
大野英樹	FB	村瀬陽一	FB
松本耕典		西原大輔	

※松山南第二中が中四国地区代表として関西大会に初出場

決勝 1月7日 花園ラグビー場第1グラウンド
(近畿第2) (中・四国)

天理中 松山南第二中
28 $\left(\begin{smallmatrix} 10-4 \\ 18-0 \end{smallmatrix}\right)$ 4

西尾恵介	FW	宮内雅浩	FW
稲村吉広		栗田啓太郎	
北浦 虎		小松弘明	
橋本洋介		石本土樹	
佐上大二郎		平野秀則	
南孝太郎		武田信吾	
比見広一		今井幹也	
稲次信二	HB	中津 誠	HB
土佐忠徳		杉野裕介	
奥田正大	TB	松田悟志	TB
松村 史		鶴田 一	
高橋陸雄		大野英樹	
松隈孝三		沖中俊一郎	
西 嘉通	FB	高岡 毅	FB
ハツ橋修身		松本耕典	

関西大会

【Bブロック】

一回戦 1月5日 花園ラグビー場
(中・四国) (近畿第1)
松山南第二中 甲南中

22 $\left(\begin{smallmatrix} 10-7 \\ 22-0 \end{smallmatrix}\right)$ 7

宮内雅浩	FW	白崎大介	FW	松田国明	HB	大橋祥二
栗田啓太郎		高山雅行		松田悟志		藤原精二
小松弘明		鈴木康史		鶴田 一	TB	角谷英雄
石本土樹		松本匡登		大野英樹		福島 智
平野秀則		花田雅之		沖中俊一郎	尾関政義	
武田信吾		大段邦明		高岡 毅	松田正樹	
渡部幸治		柚山友広		松本耕典	FB	吉岡直之
中津 誠	藤井良平					

編集後記

やっと本誌第13号の刊行にこぎつけました。本号では昨秋から、今年の正月大会までの愛媛ラグビーの動きを追っています。正月大会には高校、高専、大学、中学と各級大会に本県チームが出場しました。本当に久しぶりのことで松山南第2中や新居浜工専の活躍は見事でした。さて今年は愛媛県でラグビーが始められて60年目にあたります。記念事業や各種の取り組みも企画されています。第14号ではこの10年間の愛媛ラグビーの動きの総括を記念号として発刊する予定です。お楽しみに……。 (中野・二神)

えひめ

RUGBY No. 13

平成2年3月印刷

平成2年3月発行


編集 発行 えひめRUGBY編集委員会
愛媛県ラグビーフットボール協会
愛媛県松山市土居田町575-3
新栄塗装工業(株) 気付
TEL (0899) 71-1818
印刷 (有) 二葉印刷所
松山市萱町4丁目7-2
カネミヤビル203号
TEL (0899) 25-0338
FAX (0899) 25-2189

時代を創る。

和と誠実



松山市竹原2-1-19 ☎(0899)33-7777

新しいトヨタが走りはじめます。  TOYOTA

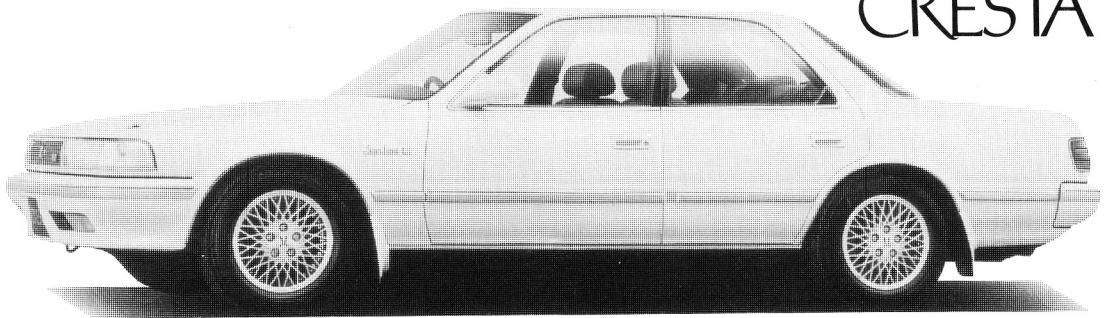


ラグーたちに捧げたい男の誇りです。

圧倒的なニューパワー3000

トヨタの最高級パーソナルセダン

CRESTA



写真はクレスト3.0スーパーレセントG



クレスト ビスタ MR2 ターセル SERA MIX

トヨタビスタ愛媛

本社/松山市中央1丁目19-32 TEL.0899(22)8888

本社一松山・R-11松山・新居浜・今治・大洲・宇和島